

学校閉校

特集

巡る季節ときを感じて

〜仁左平中学校、66年の歴史に幕〜



広報

への

2013.4.1

No. 175



市長演述

平成25年第一回二戸市議会定例会が2月26日開会し、小保内敏幸市長が本年度のまちづくりの指針となる施政方針を述べました。その中で示された要旨ならびに主要事業、予算を紹介します。

昨年は被災地支援に取り組みとともに、「二戸市総合計画後期基本計画」の推進に取り組んで参りました。このようななか、さまざまな場面で市民の皆様にご活躍いただきました。心から感謝申し上げます。

現在の本市の状況は、人口減少や少子高齢化が進み、経済活動の低迷や地域コミュニティの衰退、単身高齢者世帯の増加など、避けることの出来ない課題に直面しております。

また、本市を含む二戸地域の有効求人倍率は0・67と県内最低水準であり、依然として厳しい環境となっております。

国においては、日本経済の再生に向けた緊急経済対策に基づく施策が展開されており、最近では円安の進行、株価の上昇といった動きも見え始めております。

しかしながら、円安の進行に伴う輸入価格の上昇やT P P交渉への参加など、本市の産業を取り巻く環境の先行きは不透明な部分も多くあります。

このように、多くの課題を抱えておりますが、先送りすることなく市民の皆様のご知恵や経験を集め、まちづくりを担う「人づくり」に積極的に取り組むことで「夢を持ち、生きいきと暮らせるまち二戸」の実現を推進して参ります。

広報にのへ4月1日号

CONTENTS - 目次 -

- 01・36 仁左平中学校閉校式
思い出を語る会
- 02 市長演述
- 06 平成25年度当初予算
- 08 補正予算
- 09 稲庭岳周辺生物調査中間報告会
- 10 産業チャレンジ支援事業成果発表会
- 12 おいでよ！久慈・八戸
- 14 にのへトピックス
- 17 表彰
- 18 News & Information
- 22 こしゃーる
小さな美術館
- 23 図書館情報
マイ・トレジャーズ
- 24 風光る 須田山裕太 さん
(株)デーリー東北新聞社二戸支局
ドライバーさん、気をつけて！
- 25 地域おこし協力隊通信
こみゆにTeaたいむ
- 26 特集 巡る季節を感じて
～仁左平中学校66年の歴史に幕～
- 34 被災地だより
ぴかっとニュース
- 35 慶弔など



イラスト：きり光乗

グローバル社会を生き抜くための新たな挑戦

「この地で暮らして良かった」と

実感できるまちづくりを

オール二戸による まちづくり

これまで、「シテイセールス推進事業」や「特産品ブランド化推進事業」などで、「二戸の良さ」を売り出して参りました。平成25年度はこのような取り組みをさらに発展させ、産業振興や交流促進を図る「オール二戸」による取り組みを進めて参ります。

第一は、「東京都板橋区及び板橋区大山商店街との連携・交流の促進」であります。

大山商店街では、これまで農産物の販売などに取り組んで参りましたが、期間や商品数が限られるなど、継続的な販売には結びついておりませんでした。

今般、大山商店街の「とれたて村」に、市として参加することで協議が済み、6月から本市の農産



大山商店街でのにのへ市特産品フェア(2012年9月)

物や加工品を販売する予定で準備を進めています。この「とれたて村」では、本市への体験ツアーなども計画されており、人・モノ・情報の交流が促進されることで、本市の産業振興に大きく寄与するものと考えております。

また、板橋区の小中学校に学校給食用の食材を提供するための協議も進めることとしております。

第二は、「にのへブランド海外

発信事業」であります。

本市の地酒・南部美人や漆は、海外での販売実績があります。このような実績を活かし、世界経済の中心であるニューヨークで本市の情報発信に取り組んで参ります。

この取り組みは、企画力やネットワークといった民間のノウハウを活用しながら、行政がコーディネーターすることで、海外で二戸のブランドイメージを高め、それを国内にフィードバックさせ、本市の魅力を広く国内外に情報発信するものであります。地域産業の振興を図るため、既に海外展開している民間事業者と行政が、一体となった新たな取り組みを進めて参ります。

産業活動が活発な まちづくり

農林業については、男神・米沢・

湯田地区の「県営畑地帯総合整備事業」、浄法寺川又地区の「経営体育成型原菅農地整備事業」をはじめとした農業基盤整備を進めて参ります。

また、人・農地プランの作成と、このプランに基づく新規就農者支援や農地集積、意欲的な経営体の育成支援、集落営農の推進に取り組むとともに、「いわて未来農業確立総合支援事業」などにより、低コスト化、生産性の向上など、安全で安心な高品質作物の生産支援や新たな農業農村の仕組みづくりに取り組んで参ります。

商工業については、「住宅リフォーム支援事業」を引き続き実施するとともに、「石切所にぎわい創出事業」など、地域と商店街が一体となった商業振興事業にも取り組んで参ります。

企業誘致については、一昨年の食品会社に続き、にのへ情報オフィスヘコールセンターが入居し、両社で120名の新たな雇用創出に繋がりました。今後、更に雇用拡大の計画があるなど、厳しい経済状況のなか雇用確保に向けた成果が見られました。



本年度オープン予定のパークゴルフ場(イメージ)

しかし、企業が求める労働条件と求職者が求める就業条件が合致しない、いわゆる雇用のミスマッチが生じていることから、関係機関と連携し求人企業と求職者の情報交換など、「雇用マッチング」の取り組みを進めて参ります。

観光については、「パークゴルフ場」など、施設整備が進むとともに、地域の若者が金田一温泉のお湯を使った果物栽培を行うなど、新たな取り組み事例も出始めております。旅行形態の変化や旅行者のニーズを把握しながら、折爪岳や馬仙峡、稲庭岳、天台寺、金田一温泉、あるいは、特色ある各地域での取り組みなど、本市の魅力を活かした交流人口の増加に

平成 25 年度当初予算主要事業

産業活動が活発なまちづくり

- いわて未来農業確立総合支援事業費補助金…4,980 万円
- 県営担い手育成畑地帯総合整備事業負担金（男神・米沢・湯田地区）…3,300 万円
- 県営農地整備事業（経営体育成型）川又地区…1,940 万円
- にのへ産業チャレンジ支援事業費補助金…1,000 万円
- パークゴルフ場管理事業…1,000 万円
- 住宅リフォーム支援事業助成費…500 万円

地域を担う人を育てるまちづくり

- 福岡中学校建設事業…24 億 1,000 万円
- 中学生海外派遣研修協議会補助金…520 万円
- 天台寺修復事業…500 万円
- 学力向上プロジェクト事業…230 万円
- 槻陰舎きぼう塾事業…100 万円

安全で安心して暮らせるまちづくり

- 二戸消防署浄法寺分署建設事業…1 億 5,000 万円
- 浄法寺診療所耐震補強及び大規模改修事業…3,240 万円
- 防災行政無線設備及び子局更新事業…1,260 万円
- 健康生活推進事業…850 万円
- 自主防災組織育成補助金…100 万円

生活環境が整備されたまちづくり

- 荒瀬上田面線街路整備事業（岩谷橋工区）…3 億 9,100 万円
- 橋梁補修事業…2 億 4,000 万円
- 市民協働道路整備事業…2,640 万円

市民とともに歩むまちづくり

- 地域おこし活動推進事業…980 万円
- シティセールス推進事業…350 万円
- にのへブランド海外発信事業…130 万円

スリムな行財政によるまちづくり

- 市役所本庁舎耐震補強及び改修事業…2 億 4,720 万円
- 市ホームページ改修事業…210 万円

取り組んで参ります。

地域を担う人を育てるまちづくり

教育の基本である子どもたちの学力向上については、「学力向上プロジェクト事業」に引き続き取り組み、児童生徒の学力と教員の指導力の向上に努めるとともに、「福岡中学校建設事業」を着実に推進し、教育環境の充実を図って参ります。

また、これからのまちづくりを担う子どもたちが、郷土を理解し、自分の将来を考えるために、「中学生海外派遣研修」や「槻陰舎きぼう塾」を引き続き実施し、子ど

もたちを育て参ります。

文化財の保護・活用については、国の重要文化財である「天台寺本堂・仁王門の修復」を支援して参ります。

スポーツ振興については、二戸市体育協会と連携しながら、利用者の利便性向上を図るとともに、各種スポーツ教室を開催するなど、健康づくりやスポーツに親しみやすい環境づくりに努めて参ります。

安全で安心して暮らせるまちづくり

安全で安心な、共に支え合う地域社会の実現が求められているこ



自主防災組織の設立・育成を支援します

とから、高齢者をはじめとした要援護者に対する「災害時要援護者避難支援プラン個別計画」の作成を、地域の実情を把握しながら進めて参ります。

災害に強い地域づくりについては、地域の防災力を向上させるため、引き続き「自主防災組織の設立・育成の支援」に努めるとともに、「浄法寺分署の移転新築」「二戸消防署の移転新築」を進めて参ります。

保健・医療については、健康への21プランの評価を行い第2次計画を作成するとともに、これまでの「健康長寿からだづくり事業」を拡充した「健康生活推進事業」により、若い世代からロコモティブシンドローム（運動器症候群）予防に取り組みます。あわせて、健康診断等未受診者への積極的な受診勧奨により受診率の向上を図りながら、市民の皆様の健康維持増進に努めて参ります。

また「浄法寺診療所耐震補強及び大規模改修事業」により、地域医療の拠点整備を図るとともに、訪問診療などの地域医療の充実を図って参ります。

子育て支援については、平成27年度に施行予定の子ども・子育て関連三法の内容を的確に把握し、子育て世帯へのきめ細やかな支援を行うとともに、市と民間保育所

が連携を図り、保育サービスの充実に努めて参ります。

生活環境が整備されたまちづくり

社会基盤整備については、施設を維持する必要性があらためて認識されたことから、老朽化した橋梁の計画的な補修を進めるとともに、「市民協働道路整備事業」や「下水道整備事業」などにより生活に身近な整備を推進して参ります。

環境対策については、民間のノウハウを活用し、家庭、地域における資源循環活動につながるよう、市民の皆様との協働により、ごみの減量化・資源化に取り組んで参ります。

県境不法投棄事案については、昨年8月の産廃特措法改正により、岩手県においては5年間延長する計画となっていることから、汚染土壌の浄化が適切に処理されるよう引き続き注視して参ります。

道路網・都市基盤の整備については、「岩谷橋の架け替え」や「市道役場線整備」が本格的な工事に着手することから、関係機関と連携しながら道路網の整備を促進す

るとともに、「新幹線二戸駅周辺地区土地画整理事業」についても着実に推進して参ります。

情報通信基盤整備については、災害臨時放送などで重要な役割を果たした、「カシオペアFMのエリア拡大」を進めるとともに、急速に普及するスマートフォンなどに対応できる高速通信網の整備促進を通信事業者に働きかけて参ります。

市民とともに歩む まちづくり

地域を取り巻く環境が変化するなか、市民と行政、団体、企業などが連携し、市民協働推進計画の実現に向けた取り組みを推進するとともに、宝を生かした持続可能な地域づくりを進める必要があります。

このことから、「市民協働推進事業」を拡充し、これまでの町内会等に加え、NPOや市民団体が行う地域づくり活動に対しても支援を行い、元気で魅力ある二戸市を目指して参ります。

また、各地域で作成した地域づくり計画を、より効果的に実

現するために、職員も積極的に地域に入り、市民の皆様と対話を重ねながら活性化を支援して参ります。

さらに、平成28年の国民体育大会開催に向けて、新たに国体推進室を設置するとともに、開催に向けた環境美化などの市民運動についても支援して参ります。

「宝」の活用については、高齢者のもつ「技」を活用した福田繁雄作品の木製おもちゃ製作など、技術や作法なども宝として活用しながら、それぞれの世代が生きがいを持てる地域づくりを進めて参ります。

また、平成24年度の調査におい



稲庭岳の生物調査で発見されたヒメギフチョウ

て、ヒメギフチョウなどの貴重な生物が確認された「稲庭岳周辺地域生物調査事業」を引き続き実施し、今後の地域づくりに活用して参ります。

このように、「市民協働推進事業」や「地域おこし協力隊」による活動などを、様々な機会や手段・媒体を通じて多角的に発信し、本市のイメージ向上を図りながら、生きいきと暮らせるまちづくりを進めて参ります。

スリムな行財政による まちづくり

職員数が減少し、国・県からの権限移譲など、市が行う業務が増加するなか、市政への市民参加の機会を充実させるとともに、行財政運営の効率化を一層進める必要があります。

行財政改革の推進については、第二次二戸市行財政改革大綱に基づき取り組みとし、「パブリックコメント制度の導入」により政策形成過程への市民参加を進めるとともに、「事務事業評価」により常に改善点を把握・検証しながら、市民参加による政策評価の

導入に向けた検討を進めて参ります。

また、市民ニーズが多様化・複雑化・高度化していることから、市職員の資質・能力の向上を図るため、「職員研修の充実」に努めて参ります。

さらに、老朽化が進む本庁舎については「本庁舎耐震補強及び改修事業」により、本庁機能の維持・向上を図るとともに、建設部局、農林部局を岩手県二戸地区合同庁舎へ移転し、県との連携により住民サービスの向上を図ります。

自治体連携の促進については、「三圏域連携懇談会事業」や「イチ、ニのサン元気な東北発信事業」などを引き続き実施するとともに、横軸連携の再開や新たな自治体連携により、民間交流も含めた多様な交流を進め、市のイメージアップと地域の活性化につなげて参ります。

結びに、いまを生きる私たちが、過去から現在、そして未来へ、「人」「歴史」「文化」などをつなぎ、持続できるまちづくりを進めていくことが、私たちに課された大きな責務であると考えております。そ



一関、二戸、三沢の3市連携で元気な東北を発信します

のためにも、受け継がれてきたものを、守り伝え続けるとともに、グローバル化する経済社会を生き抜いていくため、日本の、そして世界の中心都市で二戸の良さを広めていく新たな挑戦も必要ではないかと思っております。

また、日々の暮らしに眠っている本当の価値への「気づき」が大切であると思っております。「気づき」は意識の変化を生み、新しい動きにつながります。

生きいきと暮らす人の姿が、それを見た人々を巻き込んで大きなうねりとなり、「この地で暮らして良かった」と実感でき、やがて二戸への愛着や誇りへとつながっていくものと考えております。

平成 25 年度当初予算は、3 年目となる後期基本計画の実現に向けた施策を着実に推進するため、地域産業の振興、市民の皆さんの安全・安心に重点を置きながら編成しました。また、事業のピークをむかえる「福岡中学校建設事業」や「二戸消防署浄法寺分署建設事業」などの大規模事業などの影響により、一般会計の総額は、合併後最大規模となる 178 億 7,500 万円で 24 年度当初予算と比べ 21 億 4,300 万円（13.6%）増加しました。

予算

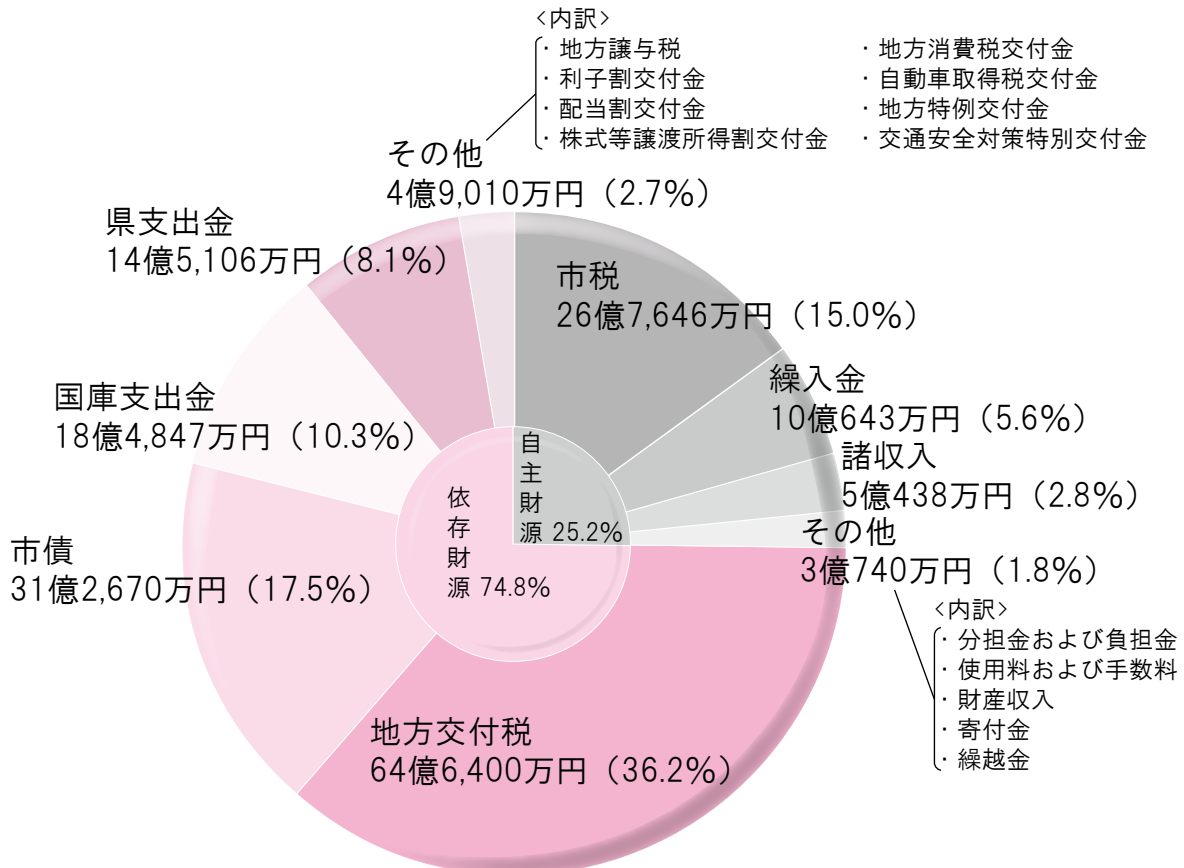
一般会計予算

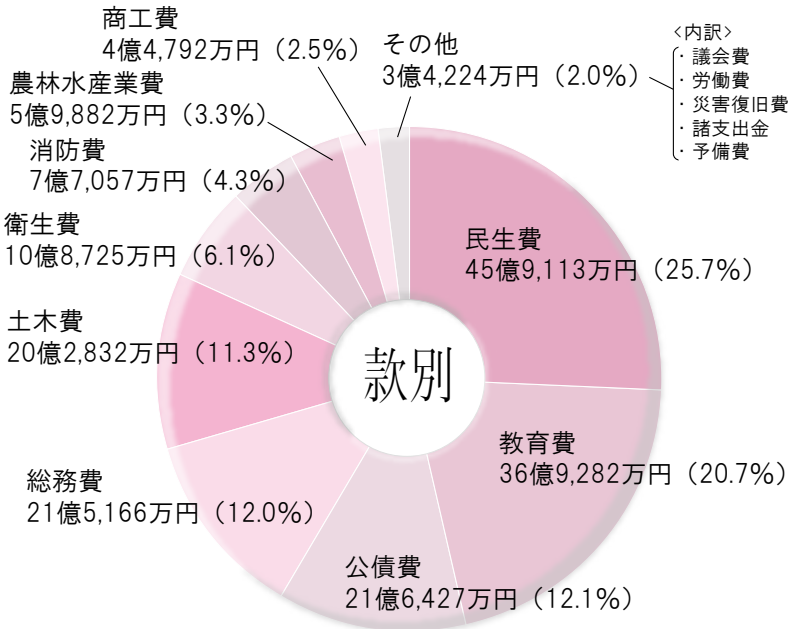
178 億 7,500 万円

歳入 は、地方交付税 64 億 6,400 万円（前年度比 1.4% 減）と最も多く、次いで市債が 31 億 2,670 万円（同 60.0% 増）、市税 26 億 7,646 万円（同 1.3% 増）、国庫支出金が 18 億 4,847 万円（同 28.1% 増）、県支出金が 14 億 5,106 万円（同 66.9% 増）、繰入金が 10 億 643 万円（同 5.6% 増）、となっています。

財源の内訳では依存財源が 74.8%、自主財源が 25.2% となっています。

市債の増加は、福岡中学校建設事業、二戸消防署浄法寺分署建設事業、市役所本庁舎耐震補強及び改修事業などによるものです。



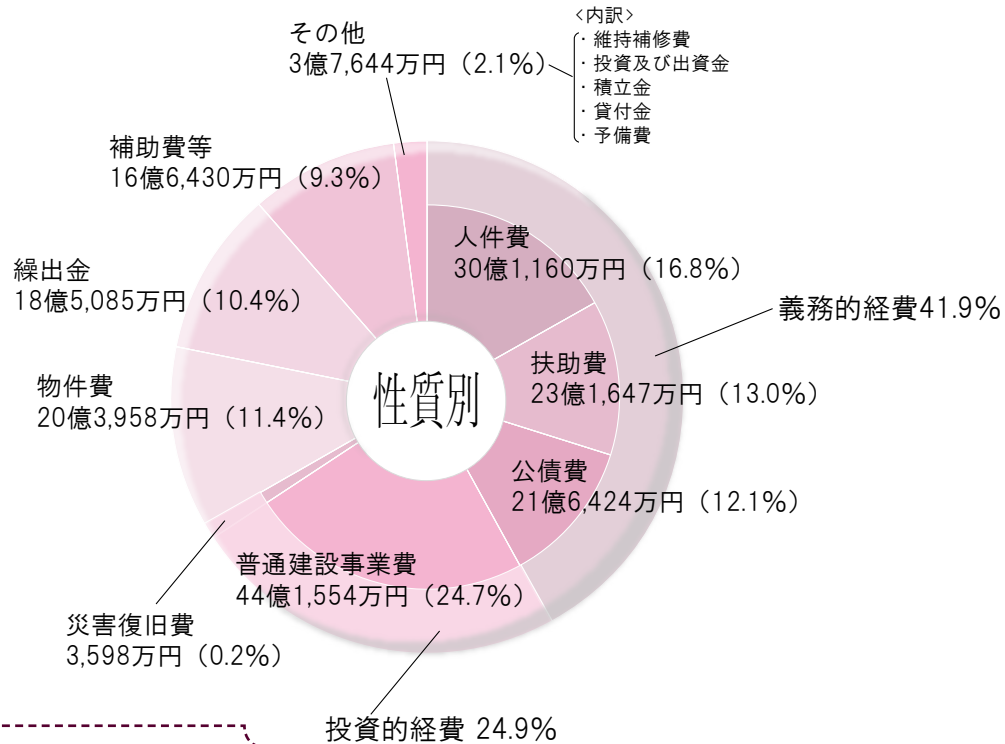


歳出は、民生費が最も多く45億9,113万円(同6.3%増)。次いで教育費が36億9,282万円(同55.6%増)、公債費が21億6,427万円(同3.5%減)、総務費が21億5,166万円(同21.9%増)、土木費が20億2,832万円(同31.6%増)となっています。

民生費の増は、社会福祉費などの増によるもの、教育費の増は、福岡中学校建設事業などによるもの、総務費の増は、市役所本庁舎耐震補強及び改修事業などによるもの、土木費の増は、荒瀬上田面線道路整備事業(岩谷橋工区)、橋梁補修事業などによるものです。

また、性質別でみると、義務的経費(人件費、公債費、扶助費)が74億9,231万円(同0.4%増)、投資的経費(普通建設事業費、災害復旧事業費)が44億5,152万円(同150.8%増)となっています。

市の借金である市債残高は、福岡中学校建設事業の借入がピークとなることなどで市債発行額が償還元金を超えることから、前年度より11億9,109万円の増で185億2,680万円となる見込みです。市民一人当たりの残高は、62万2,436円となります。市債残高は、合併後初めて増加することになりますが、年度ごとの市債発行限度額を設定した「二戸市中中期財政フレーム」により、市債発行額を調整するなどして後期基本計画期間内での黒字を堅持し、市債残高の減少など財政の健全化に努めていきます。



特別会計 国民健康保険特別会計など7つの特別会計は、総額64億8,979万円となっています。前年度当初と比べ5,571万円(0.9%)の減となっています。

	会計名	予算額	前年度比
特別会計	国民健康保険事業勘定	39億1,142万円	0.6%減
	特別会計 診療施設勘定	3億643万円	2.0%増
	下水道事業特別会計	7億9,956万円	5.2%増
	生活排水処理事業特別会計	6,626万円	0.3%減
	簡易水道事業特別会計	8,625万円	2.7%減
	土地区画整理事業特別会計	10億5,743万円	7.2%減
	介護サービス事業特別会計	195万円	5.9%増
後期高齢者医療特別会計	後期高齢者医療特別会計	2億6,049万円	2.1%増
	収益的収入	6億5,490万円	1.5%増
	収益的支出	6億3,900万円	0.3%減
	資本的収入	6,608万円	53.0%減
水道事業会計	資本的支出	3億7,787万円	15.7%減

財政用語解説

- 地方交付税** 市の財政力に応じて、国から交付されるお金
- 市債** 市が事業を行うために国や金融機関から借りるお金
- 国庫支出金** 事業の財源として使い道が特定された国や県から交付される補助金や負担金
- 自主財源** 市税や施設利用料など、市が自ら徴収できるお金
- 依存財源** 地方交付税、国庫支出金など国や県から交付されるお金
- 公債費** 借り入れた市債を返済するためのお金
- 収益的支出** 営業的な経費など
- 資本的支出** 建物の建設費など

平成 24 年度 2 月、3 月補正予算

平成 25 年度 3 月補正予算

平成 24 年度 2 月補正予算が、平成 25 年第 1 回定例議会で可決されました。

補正予算の総額は 1 億 2,861 万円の減額で、主に事業費の確定見込みによる整理を行ったものです。

また、平成 25 年 3 月 26 日開催の、平成

25 年第 1 回臨時議会において、国の緊急経済対策に対応する事業などに係る平成 24 年度 3 月補正予算のほか、平成 24 年度予算へ前倒しをした事業の減額および緊急雇用創出事業などに係る平成 25 年度 3 月補正予算が可決されました。

平成 24 年度補正予算

区 分		2月補正前 予算額	2月補正額	3月臨時補正額	3月臨時補正後 予算額	
一 般 会 計		166 億 5,400 万円	△ 1 億 1,912 万円	20 億 7,321 万円	186 億 808 万円	
特 別 会 計	国民健康保険 特別会計	事業勘定	39 億 8,613 万円	521 万円	—	39 億 9,134 万円
		診療施設勘定	3 億 818 万円	△ 2,146 万円	—	2 億 8,672 万円
	下水道事業特別会計		7 億 6,566 万円	△ 26 万円	1 億 9,100 万円	9 億 5,639 万円
	生活排水処理事業特別会計		6,666 万円	△ 525 万円	—	6,141 万円
	簡易水道事業特別会計		8,934 万円	△ 75 万円	—	8,859 万円
	土地区画整理事業特別会計		11 億 3,943 万円	1,285 万円	3 億 320 万円	14 億 5,548 万円
	介護サービス事業特別会計		184 万円	17 万円	—	202 万円
	後期高齢者医療特別会計		2 億 5,521 万円	—	—	2 億 5,521 万円
	計 (特別会計)		66 億 1,245 万円	△ 949 万円	4 億 9,420 万円	70 億 9,716 万円
	総 計		232 億 6,644 万円	△ 1 億 2,861 万円	25 億 6,741 万円	257 億 524 万円

※端数処理のため合計が一致していない部分があります。

平成 25 年度補正予算

区 分	当初予算額	3月臨時補正額	3月臨時補正後 予算額
一 般 会 計	178 億 7,500 万円	△ 14 億 5,571 万円	164 億 1,929 万円

【主な事業および補正額】

○緊急雇用創出事業… 1 億 6,390 万円

失業者等の雇用対策として、健康増進・元気いっぱい体づくり実践事業など 21 事業を実施し、臨時的な雇用・就業機会を創出・提供します。

○健康づくり推進事業… 505 万円

健康にのへ 21 (第 2 次) プラン策定に向けたアンケート調査の実施および分析などを行います。



守るべき稲庭の自然 新たな発見明らかに

第4回稲庭学講座・稲庭岳周辺地域生物学術調査中間報告会は3月17日、シビックセンターで行われました。生物学術調査の調査年度は平成24年度から3年間で、稲庭岳周辺の動植物などの分布や生息の状況などを調査し、自然保護や利活用につなげ、地域活性化を図るものです。この日は3人の調査員が昨年度の調査結果を報告しました。

植物 希少度の高い種を発見

始めに、小守一男^{かずお}調査員が植物相、植生について報告しました。絶滅の危機にひんしているとされているヤシャビシヤク、ギボウシラン、コアニチドリなどを



哺乳類等 市内で初の確認も

確認。平成24年度内に確認されたのは全部で101科、529種でした。また植生調査では、周辺地域に広がる自然度の非常に高いヤチダモ林やカシワ林を確認。ヤチダモ林の一部にはミチノクサイシンを確認しました。小守調査員は「2年目以降はさらに詳しい調査をしていきたい」と話しました。

次に、三角義彦^{よしひこ}調査員が稲庭岳周辺に生息する哺乳類や鳥類について報告しました。長流部の集会所に近い森でムササビの巣穴を6カ所、山麓でモモンガの巣穴を2カ所確認しました。モモンガは、



昆虫 2176種の昆虫を確認

二戸市では極めて希少な種です。また、鳥類ではクマタカ、イヌワシの生息を確認しました。その他、モリアオガエルの繁殖池を2カ所確認。三角調査員は「フマタカやイヌワシが確認できたので、巣の発見に努めたい。道具を使わず感覚を大切に、自然の全景を眺めるように自分の足で歩き調査を継続していきたい」と話しました。

最後に、伊達功^{いさお}調査員が昆虫について報告しました。自然度の高いブナ林を好むとされるオオチャイロハナムグリをキャンプ場周辺で確認。このことから伊



上から、小守調査員（植物）、三角調査員（哺乳類、鳥類ほか）、伊達調査員（昆虫）



- 1 ヤシャビシヤク
- 2 モリアオガエル
- 3 ムササビ
- 4 オオチャイロハナムグリ

稲庭の自然に魅せられ



鮮やかな写真に息をのむ来場者

「ネイチャーフォト展 稲庭山麓の自然」は3月12日から31日までシビックセンター市民ホールで行われ、三角調査員がこれまでに撮影してきた、アオハダトンボやヤマメの産卵など貴重な写真が展示されました。会場を訪れた人は植物や昆虫、動物たちの躍動感あふれる写真に見入っていました。

達調査員は「稲庭岳周辺ではブナ林のよくな原生的な自然環境が常に維持されてきて、地域で行われてきた営みが共存してきたと考えられる。」との見解を示しました。また、「初年度で確認されたのは2176種で、未整理の試料を整理すると約2500種にも及ぶと考えられる。これは、県内で確認されている昆虫の約4分の1に相当する。これからもどんどん標本や試料がたまるので、成果のまとめ方や活用方法についても十分に検討していく必要がある」と結びました。

自家栽培リンゴを使った加工品を開発

＝ 権七園 ＝

経営の7割を占めるリンゴを使った、金田一温泉の土産物の開発に取り組みました。完熟したリンゴを使用することをコンセプトに、既存商品「ブルーベリーのここと煮」のシリーズ商品として、リンゴのコンポートを試作。サンふじを果皮ごと、大量に加工することで、糖度が30度を超える逸品ができました。今後は商品名やパッケージなどを検討し販売開始を目指します。



なかの たかし
中野 敬 さん



国内外での展示会と新商品開発

＝ (株)浄法寺漆産業 ＝

東京、シカゴ、パリなど国内外の展示会に漆器を出展。国別に好まれるデザインや色が異なることがわかり、それぞれの好みに合った商品の提案が必要だと感じました。また、山口県の萩ガラスとコラボレーションした新商品「うるしグラス」を開発。8月にはニューヨークでの展示会を予定しており海外への積極的なPRとうるしグラスを中心とした販売促進に取り組めます。



まつおか たかし
松沢 卓生 さん

地元食材を使ったご当地料理を開発

＝ 若手料理人の会 ＝

「手軽」「二戸らしさ」などをコンセプトに試作を重ね、ひつつみ料理3品と地元鶏を使った手羽料理の計4品を開発。試食会でも好評を得ました。今後はそれぞれの料理の課題改善に取り組み、最終的には1品に絞り込みます。また試作料理全てに使っているせんべい塩（野田塩に、細かく砕いた南部せんべいと雑穀を混ぜたもの）は、調味料としての商品化を検討中です。



ゆき たかし
濱 豊 さん

オリジナルドレッシングを商品化

＝ レストラン・ボヌール ＝

元々自店で量り売りしていたオリジナルドレッシングですが、常連客からの要望で、専用容器での商品化に挑戦しました。容器は200ml程度の液だれが少ないタイプ、パッケージにはボヌールらしさを前面に押し出し、地元産のタマネギをふんだんに使った特製生ドレッシング「ボヌドレ」が完成。化学調味料を使わない優しい味です。4月から自店で販売します。



よし野 たかし
吉野 貴希 さん

アドバイザーの
皆さん



(株)岩手屋
小松遊平 副社長



(株)農経企画情報センター
小林彰一 代表取締役



岩手志援(株)
鈴木勝美 代表取締役

市内で新たな事業や地元特産品の開発などに取り組む人を応援する「にのへ産業チャレンジ支援事業」。平成24年度の成果発表会は3月15日、市内のホテルで行われ、採択された12団体が事業内容や一年間取り組んだ成果を発表し、アドバイザーからの助言を受けました。同年度は8団体を新規採択。続々と展開される新たなチャレンジを紹介します。

新チャレンジ、続々！

【(株)浄法寺漆産業】
うるしグラス



ジュエリーフラワーと天台寺窯の仏花【夢げん】



バーニャカウダソース
【大西ファーム】



シェフの生ドレッシング
「ボヌドレ」【ボヌール】



試食調査で「おいしい」7割

= (株)アグリカシオペア =

インターネットやスーパーで、主力商品である「もっちりんご」の試食調査を実施し、約7割の方から「おいしい」との評価を得られました。また紅玉、ジョナゴールド、ふじの3種類では、圧倒的にふじの評価が高いこともわかりました。昨年7月からはホームページの運用を開始。次年度は試食調査で得た消費者の生の声を使って、もっちりんごの魅力をアピールしていく計画です。



こもり かずしげ
小森 和重 さん

もみ殻をベースとした燃料棒の開発

= 昭和建設工業(株) =

CO2削減を目標に、二戸地域で出たもみ殻、おがくずなどのバイオマス資源を利用したまき状の燃料棒の開発に取り組みました。本年度注目したもみ殻は、まきに比べて燃焼カロリーが高く、煙や灰は少ないという特徴があります。苗床としても利用可能です。しかし管内ではもみ殻が畜産に利用されるため、原材料確保が難しいという問題が浮上しました。現在は代替原材料を模索中です。



みやざわ まさと
宮澤 雅人 さん

温泉を使ったイチゴの水耕栽培

= 産直湯の香市 =

温泉の熱を利用したイチゴの栽培に取り組みました。ハウスの土の中に配管を埋設しハウス内の温度を維持するとともに、イチゴの蕪元へも配管を通し、生育温度を保ちました。初年度は果実の収穫は難しいと言われますが、大きいもので6割の果実が収穫できました。次年度以降も、データ取得と栽培技術の習得に取り組み、温泉郷活性化の起爆剤となる「摘み取り園」の開園を目指します。



おぬま としはる
大沼 利治 さん

天台寺窯とジュエリーフラワーで仏花制作

= 夢げん =

現在の生活様式に合う仏花を作りたいと思い天台寺窯の花器とコラボレーションしたジュエリー仏花の試作・販売に取り組みました。市場調査のために訪れた京都では、色彩やデザインを学びました。また青森ではジュエリーフラワーは珍しく、八戸の展示会では多くの方に興味を持っていただきました。仏具店からの試作依頼も来ています。



なかもり ようこ
中村 洋子 さん

新商品バーニャカウダソースの開発

= 大西ファーム =

自家生産と契約農家のニンニクを使ったバーニャカウダソースを開発しました。バーニャカウダとは野菜スティックを温めたソースにつけて食べるイタリアの料理です。ソースの原料となるアンチョビは、宮古市の山根商店に、宮古湾で水揚げされたカタクチイワシを加工して作ってもらいました。今後はバーニャカウダ用のイタリア野菜の栽培など、取り組みを広げていきたいと思えます。



おにし のりひろ
大西 範道 さん

メディアサイトで地元店舗の利用促進

= Happy K 注入！ =

各種イベントや飲食店情報など、地域の情報を配信するインターネットサイトの構築に取り組みました。フェイスブックなどのソーシャルメディアとも連携し、市民や観光客などが地域の情報をリアルタイムで得ることができるサイトです。サイト名は「にのたん」、6月に運用を開始する予定です。地元の方の人間味が感じられる温かいサイトを目指します。



はたなか きよこ
畑山 喜久子 さん

二戸産桑茶の地元定着と販路拡大

= たや畑産業 =

桑茶はミネラルが豊富なうえ、生活習慣病予防などに効果があります。今年度は、さまざまな市内イベントでの販売や、市内飲食店での提供を通して、地元での定着に取り組みました。また他の特産品とともに販売会を行い販売促進に力を入れました。桑茶の販売は県内で3番目。今後も、新しいことに積極的に挑戦し差別化を図りながら、地域活性化に貢献する産業に発展させていきます。



たや とおる
田家 亘 さん

幻のそば「岩手中生」の普及・PR

= そば処 きんじ =

岩手中生は1978年に二戸市で採集されたそばの在来種で、小粒ながらも香りが強いのが特徴です。一時生産が途絶えましたが、わずかに残っていた種を市内の農家で9年かけて増やしてきました。そば打ち同好会「御法度の会」との連携や、設立したばかりの「岩手中生の会」の活動を通して、今後も岩手中生の生産拡大や普及に取り組み、そば処二戸をPRしていきます。



こん としあき
昆 俊顕 さん



上/かごいっぱいのごつぎウニ!
中/ワカメやタコなど新鮮な魚介類も並び
会場内
下/外のテントではイカやウニなどが焼か
れ、おいしそうな匂いに包まれます



昨年5月の二子朝市。生ウニが飛びように売れました

おいでよ! 久慈



新鮮な海の幸をお届け

今年も元気に開催! 二子朝市

- 5月上旬と5月
~12月の第3日
曜日(開催予定)
- 玉の脇漁港前

☎久慈市林業水産課
☎0194-52-2122
FAX0194-52-3653

久慈の新鮮な海の幸を販売する二子朝市。地元の新鮮な魚介類や丁寧な仕上げた海産物を届けたいと、久慈市漁業協同組合二子漁業生産部が平成17年から開催しています。新巻鮭や塩ウニなどの加工品のほか、天然のウニやアワビ、ホヤなどが安く購入できるため、9時の開場前から長蛇の列ができる人気です。会場がある玉の脇漁港は東日本大震災による津波で全ての施設が流されました。しかし、震災2カ月後の5月には仮設テントで朝市を再開し、浜の元気を発信しました。昨年は新施設も完成し、さらに活気づいています。朝市の日は少し早起きをして、二子朝市においでよ!

4~6月の

やませ土風館5周年記念感謝祭

4月8日で開館5周年を迎えるやませ土風館。郷土芸能発表などのイベントや郷土料理、特産物を取りそろえ、お待ちしております。

- 4月6日(土)~8日(月)
- やませ土風館および周辺



水車まつり(山根六郷くるま市)

イワナの塩焼き・そば・田楽などの販売や水車による加工実演、5月と11月には郷土芸能を披露。懐かしい風景の中で心温まるまつりです。

- 4月~11月の第1日曜日
- 桂の水車広場



三圏域連携事業 「広報紙面交換」

八戸市・二戸市・久慈市は、古くから密接な関係にある地域です。この事業は、3市でお互いのまちの魅力を広報紙で紹介し合う交流企画です。



「いがあったらかれー！（良かったら買って）」イサバのカッチャの売り声が弾みます



上／海産物は旬のものがどっさり
中／串もちや味噌田楽の素朴な味も大きな魅力
下／海の幸を自由に選んで自分流の特製朝ご飯

おいでよ！ 八戸



朝市のまち 八戸

八戸の元気がここにあり！

八戸の中心街の地名には、三日町や八日町といった市日のついた名称が多く見られ、古くから市日や朝市などでにぎわいを見せていました。その名残か、現在も市内では、館鼻^{たてはな}岸壁朝市、湊山手通り朝市、八戸ニュータウン朝市など、7カ所で朝市が開催され、多くの人々が訪れます。中でも陸奥^{むつみなと}湊駅前^{みなと}の朝市では、日の出前から「イサバのカッチャ」と呼ばれる魚商のお母さんたちの威勢のいい掛け声が響きます。新鮮な魚介類を選ぶお客さんとイサバのカッチャの会話も弾み、朝市の会場は笑顔と活気に満ちあふれます。

八戸の元気に触れる朝市、ぜひおいでください。

- 通年で開催（毎週日曜日休業）
- JR八戸線 陸奥湊駅周辺
- 八戸市観光課
☎0178-46-4040
FAX0178-46-5600

かぶしま 蕪嶋まつり



蕪嶋神社みこし運行、郷土芸能発表など、多彩なイベントを開催。ウミネコ繁殖地蕪嶋では、約4万羽のウミネコを間近で見ることができます。
○4月20日（土）、21日（日）
○蕪嶋海浜公園

はちのへ公園春まつり



桜の名所、八戸公園では1,600本の桜が咲き誇ります。多くの出店が並び、フリーマーケットなども開催されます。
○4月28日（日）～
5月6日（月・祝）
○八戸公園

イベント



「北緯40°ナニヤッタラ連邦」ロゴマーク
釣具や農具は、三圏域の誇る産業を、また、三つの星は、北緯40°台の同緯度において、同じ星空を見る三圏域の共同性や一体感を象徴します。



への トピックス

●身近で起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの情報をお待ちしています。
情報管理室 ☎ 23-3111 (内線 644)、FAX 22-1195



披露されたモザイク画の前で記念撮影

先輩へ、感謝の気持ち込め

福岡高校浄法寺校(佐々木龍孝校長)は2月27日、同校^{よせん}で予餞会を開き、全校生徒27人と佐々木校長の顔を描いたモザイク画を披露しました。モザイク画は縦4^つ、横8^つで、一辺が1^つに満たない小さな升目を、赤と黒で一つ一つ塗りつぶして作られています。昨年の12月中旬から、1、2年生が休み時間や放課後を利用して制作しました。

2年生の^{りょう}館山凌君は「3年生に驚き、喜んでほしかった。一つ一つの升目をきれいに塗るのは大変だったが、感謝の気持ちを込めた」と話しました。

農業の魅力、伝えたい

KAMA-コン開催

若者に農業への理解を深めてもらうイベント「KAMA-コン～おかまじゃないよ、かまくらだよ～」(浄法寺4Hクラブ主催)が2月23日、天台の湯ほかで開催されました。約40人の男女が参加。天台の湯に設置されたかまくらの中で、異性全員と1分間ずつ自己紹介をし合った後、馬場農園でハウレンソウの収穫を体験しました。主催者代表の馬場^{まこと}淳さんは「農業は、二戸を支えるなくてはならない産業。冬のイベントとして定着させ、農業の魅力を若い人に伝えていきたい」と意気込みを語りました。



「乾杯!」。収穫したてのハウレンソウと短角牛のしゃぶしゃぶに舌鼓



堀口副市長（後列左）からお祝い状と記念品が贈られました

百 泉山吉太郎さん、100歳に 寿の喜び語る

浄法寺町の泉山吉太郎^{きちたろう}さんは2月20日に100歳の誕生日を迎えられ、現在入所しているあしろ苑（八幡平市）で25日、堀口副市長からお祝い状と記念品が贈られました。泉山さんは昭和21年ごろ浄法寺町で理容店を開業。76歳までは1人で仕事をし、以降も80歳くらいまで忙しい時には店に出て手伝っていたそうです。長生きの秘訣^{ひけつ}を尋ねると「何でも食べ、よく寝ること。100歳を迎えられて嬉しい」と喜びを語りました。



「省エネで浮いたお金を使えばエネルギー消費」と小野寺さん

産 第10回カシオペア環境講演会 廃、環境の現状を知る

第10回カシオペア環境講演会（カシオペア環境研究会ほか主催）は2月23日、シビックセンターで行われ、県廃棄物特別対策室の中村隆^{たかし}再生・整備課長が、有害物質「1,4-ジオキサン」による地下水汚染の解消のため県境産廃処理計画を5年程度延長することなどを報告し、市民へ理解を求めました。次に、小野寺英輝^{ひでき}岩手大学工学部准教授が再生可能エネルギーなどについて講演。「再生可能エネルギーを適所で使うことが省エネになる」と話しました。

白 下海上自治体が三世代交流 分でついたお餅、格別！

下海上自治会（高橋武士会長）北向班は2月24日、同地区にある、古民家を改築した「縄文のうずまき社」で三世代交流会を行いました。下海上・釜沢地区の子どもたちや地域住民など約50人が参加。子どもたちに餅つきやかきた、ほがほが銭蒔きなど小正月の伝統を教えながら、交流を深めました。金田一小6年の佐藤僚太君は「餅つきが一番楽しかった。自分でついたお餅はおいしかった」と笑顔を見せました。



べったん、べったん。ついたお餅はお雑煮にして食べました

ス 第7回ステラパルカップ スピード感あふれる熱戦

第7回ステラパルカップジュニアアイスホッケー大会（市教育委員会、カシオペア氷上スポーツクラブ主催）は2月23・24日の両日、県立青少年の家スケートリンクで開催されました。地元カシオペアスターズのほか青森県や宮城県などから計15チームが参加。スピード感あふれる熱戦を繰り広げました。4年生以上が出場するAグループでは三沢ジュニアが7連覇、2～4年生が出場するBグループでは、仙台ジュニアが2年連続2度目の優勝を果たしました。



バックを追いかける選手たち。時には激しくぶつかることも



「これからは長期にわたる心のケアが必要」と田端さん

女性も、自分の命は自分で守る

にのへ男女共同参画フォーラム

にのへ男女共同参画フォーラムは3月17日、岩手県二戸地区合同庁舎で行われ、約70人が参加し、もりおか女性センター長の田端八重子さんが「震災から学んだこと～今、できるはじめる防災対策～」と題し講演しました。田端さんは東日本大震災直後から今までの被災者の状況、避難所での問題、支援などに触れながら「自分の命を自分で守れるよう、突然の災害に備え、女性も防災訓練などに参加し、意見を言えるようになることが大切」と話しました。



「天台寺の入り口にふさわしいバス停」を目指しました

訪れる人に喜んでほしい

天台寺バス停に待合所完成

JRバス天台寺バス停待合所の完成祝いおよび看板お披露目は3月23日、バス停前で行われました。この待合所は、天台寺を訪れる観光客や住民がバスを待つとき、雨風をしのげる場所がなかったことから、昨年7月に地元住民が市などに要望し、(社)県バス協会が整備したものです。向田常会の成田久ひさし会長は「できあがった待合所は銅板屋根で輝いている。地元で協力して看板も作ったので、ぜひ多くの観光客に利用してもらいたい」と話しました。

たくさん食べて、長生きしてね

中央小5年生、有機米をプレゼント

中央小学校(菅原隆二校長)の5年生は、米沢で農業を営む高村英世ひでよさんの指導を受けて育てた有機米のアキタコマチ10きを、ケアハウスにのへにプレゼントしました。児童代表の矢田匠君と竹田愛奈まなかさんが3月18日、同施設を訪れ、「高村さんに教わって作ったお米です。たくさん食べて長生きしてください」と入所者にお米を手渡すと、中館淳まこと施設長は「入所者の皆さんでおいしくいただきます」とお礼の言葉を述べました。



「たくさん食べて長生きしてください」

地元スタッフに感謝

白熱!第9回日本車椅子カーリング選手権大会

第9回日本車椅子カーリング選手権大会は3月15～17日、県北青少年の家スケートリンクで開催され、北海道や山梨県などから参加した全7チームが熱戦を繰り広げました。リーグ戦形式で行われた今大会。全試合を終え、4チームが4勝2敗で並ぶ白熱の展開でしたが、直接対決の結果から、信州チェアカーリングクラブの9連覇が決しました。同クラブスキップの飯島秀一選手は「優勝でき嬉しい。地元スタッフの素晴らしい対応に感謝します」と話しました。



熱い戦いが繰り広げられました

—21世紀・新しい時代の健康教育推進学校表彰—

福岡高が全国最優秀校

優良校に御返地小、福岡中



福岡高校（佐々木龍孝校長）は「平成24年度 21世紀・新しい時代の健康教育推進学校表彰（日本学校保健会主催）」で全国最優秀校に輝きました。また、御返地小学校、福岡中学校は優良校に選ばれました。

福岡高校の学校保健活動で、特に評価されたのは歯科保健。平成24年度の歯科検診では、今までむし歯になったことがない生徒が半数以上。治療済みの生徒を含めると

9割以上の生徒にむし歯がないという結果でした。歯科保健以外にも、肥満対策として体重測定のを機会を増やしたり、生徒、保護者を対象に保健講話を開くなど、課題の解消にも積極的に取り組んでいます。

茶畑悦子養護教諭は「小中学校での指導のおかげで、生徒たちには入学前から歯みがきの習慣が身につけている。このような地域との連携が受賞につながった」と振り返ります。また保健委員長の田澤太朋君は「委員会では歯みがきポスターを作成。興味を持ってもらえるようめぐり式にした」と紹介。工夫ある活動を展開しています。

同じく保健委員の上村健也君は、2月21日に東京都文京区の日本医師会館で行われた表彰式に出席。「Hukuoka x Health」地域が生み出した当たり前の健康生活」と題して、学校での活動を発表しました。「貴重な賞を受賞でき嬉しい。当たり前と思ってやってきたが、改めて賞の重みを感じた」と喜びを語ります。佐々木校長は「二戸地域は子どもの健康教育に熱心で、まさに地域での受賞。今後も地域と連携した健康教育を続けたい」と意欲を見せました。



受賞を喜び皆さん。右から佐々木龍孝校長、田澤太朋君（3年）、上村健也君（3年）、茶畑悦子養護教諭

良好なまちづくりに寄与した5団体を表彰

—宝を生かしたまちづくり賞—

平成24年度「宝を生かしたまちづくり賞」表彰式は3月17日、岩手県二戸地区合同庁舎で開かれ小保内市長が5団体に表彰状を手渡しました。

この賞は、宝を生かしたまちづくり条例の基本理念に基づき、宝を生かし、良好なまちづくりに寄与したと認められる市民および団体を表彰するものです。今回表彰された5団体および活動概要を紹介します。

【天台寺観光ボランティアガイドの会】

遠方より天台寺を訪れた人向けに、お寺の縁起や宝物などの案内をすることを目的に平成18年に設立。会員はボランティアで活動しており、これまでのべ226回、6,117人を案内しています。

【上里部落会】

半世紀以上の長きにわたり、毎年2回、男神女神岩展望台に続く観光道路の側溝清掃と草刈りを実施しています。

【よりんせ金田一】

『にのへ狐物語』を紙芝居と語りで発表したのがきっかけで発足されたグループ。紙芝居による「二戸狐ばなし」の金田一弁による読み聞かせや、金田一をめぐるツアーや奥州街道歩き、草履作り講習会なども実施。また、会の活動の様子をブログで発信しています。



受賞した各団体の皆さん。左から矢沢地域公民館、よりんせ金田一、小保内市長、上里部落会、釜沢自治会、天台寺観光ボランティアガイドの会

【釜沢自治会】

平成18年から、釜沢地区を縦断する奥州街道の道普請と、訪れた人へのおもてなしや集会所のトイレを利用させています。よりんせ金田一と連携するなど、平成22年度から正式に自治会活動として取り組んでいます。

【矢沢地域公民館】

平成19年4月から毎月1回、矢沢公民館だより『四季の郷』を全戸配布し、まつりや環境美化、健康教室など地域活動の様子を伝えています。また、例大祭の開催など地域活性化に主体的に取り組む矢沢観音奉賛会を設立しています。

～犬の登録、狂犬病予防注射のお知らせ～



実施月日	実施時間	実施場所
4月17日(水)	9:10～9:20	陸奥合川JRバス停付近
	9:30～9:45	似島屯所
	9:50～10:00	旧御返地診療所
	10:05～10:20	市役所御返地出張所
	10:25～10:40	福田公民館(屯所)
	10:50～11:00	山田公民館
	11:20～11:30	石切所こ線橋わき
	11:35～11:45	駅西口なにゃーと駐車場
	13:00～13:20	石切所公民館
	13:25～13:35	(新)大村屯所
	13:40～13:50	荒谷弘子様宅前
14:00～14:10	奥山屯所	
4月18日(木)	9:00～9:15	勤労福祉センター
	9:25～9:35	秋葉児童公園
	9:45～9:55	旧二戸市農協斗米支所前
	10:00～10:15	上米沢青年会館
	10:20～10:35	二戸市中央公民館
	10:40～10:55	堀野屯所裏(二戸市生きいき交流センター隣)
	11:00～11:20	堀野近隣公園
11:25～11:40	グリーン動物病院	
4月19日(金)	9:00～9:15	13区公民館
	9:20～9:35	外田勲様宅前
	9:45～10:00	坂本宝の案内板
	10:05～10:20	坂本屯所
	10:25～10:35	境ノ沢バス停前
	10:40～10:50	七滝神社入口付近
	10:55～11:05	白鳥体育研修センター
	11:10～11:20	小祝バス停前
	11:25～11:35	小峠公民館
	13:00～13:15	二戸裁判所前
	13:20～13:30	八幡下町内会公民館
13:40～13:55	松の丸公園	
14:05～14:20	村松屯所	
4月22日(月)	9:10～9:25	ゆうゆうゆ〜らく駐車場
	9:30～9:40	小林公民館
	9:45～10:00	下山井屯所
	10:05～10:15	小野屯所
	10:20～10:30	外山集落センター
	10:35～10:45	野々上屯所
	10:50～11:00	旧長久保屯所
	11:10～11:20	下海上屯所
	11:25～11:35	上海上屯所(海上ふるさと交流館)
	13:00～13:25	金田一コミュニティセンター駐車場
	13:30～13:40	金田一下平公民館
13:45～14:00	旧二戸市金田一支所跡地	

【浄法寺地区】

実施月日	実施時間	実施場所
4月15日(月)	9:00～9:20	太田地区活性化施設
	9:25～9:40	杉沢地区公民館
	9:45～9:55	上杉沢・田口哲夫様宅前
	10:00～10:10	季ケ平・齋藤邦吉様宅前
	10:20～10:30	伊崎沢・勝又正典様宅前
	10:35～10:45	田子内公民館
	10:50～11:05	里川目公民館
	11:10～11:20	梅田川地区生活改善センター
	11:25～11:40	梅ノ木公民館
	13:30～13:40	大久保消防屯所
	13:45～14:05	川又・川又2区十字路
	14:15～14:25	下沢・大森茂男様宅前
	14:35～14:45	手倉森・高森孫太郎様宅前
	14:50～15:00	馬洗場コミュニティセンター
	15:05～15:15	桧ノ木・畑山光枝様宅前
15:25～15:40	小舟・佐藤功様宅前	
15:50～16:05	江牛公民館	
4月16日(火)	9:10～9:20	山内消防屯所
	9:35～9:45	浄門の里コミュニティセンター
	9:50～10:00	下藤・関口忠男様宅前
	10:05～10:15	大清水・小林正様宅前
	10:20～10:35	大清水地区生活改善センター
	10:40～10:50	漆畑・円子孝悦郎様宅前
	11:00～11:05	焼切・駒ヶ嶺喜次郎様宅前
	11:15～11:25	谷地屋敷・佐藤正様宅前
	11:30～11:40	小又・岩館富夫様宅前
	13:30～13:45	浄法寺カシオペアセンター 大嶺分館(旧大嶺小中学校)
	13:50～14:00	大嶺地区多目的集会施設
	14:10～14:30	石橋せんべい店様前
	14:35～14:50	大森日消防屯所跡地(あずま屋)
	15:00～15:15	海上消防屯所
	15:25～15:50	馬場・下林地区コミュニティセンター
4月17日(水)	9:15～9:30	岡本消防屯所
	9:35～9:55	宮向山地区センター
	10:00～10:15	宮沢消防屯所
	10:20～10:40	漆沢地区生活改善センター
	10:50～11:05	長渡路消防屯所
	11:10～11:25	長流部・田口藤夫様宅前
	13:25～13:30	早坂・小田島リエ子様宅前
	13:35～13:40	大台久保・早坂政吉様宅前
	13:50～14:10	吉田公民館
	14:20～14:30	清水尻・岩館典誠様宅前
	14:35～14:50	飛鳥・横濱恵美子様宅前
	15:00～15:10	岩淵・樋口秀次郎様宅前
	15:20～16:00	浄法寺総合支所

認定こども園
園内見学はいつでも出来ます!!
入園随時受付中
◎案内願書は、当園またはアソバンマンパスにあります◎
松の丸幼稚園 ☎23-5444
☎23-5445
まつのまる保育園 ☎22-2525
☎22-2526
〒028-6101 二戸市福岡字橋場しあわせ通り19番地

ご希望の日時にいつでも、どこでも伺います。
個別相談 実施中
自宅出張相談を希望の方は前日までに御予約願います。
王姫711-7
にのへせレモニーホール
軽米せレモニーホール
くのへせレモニーホール
(平成25年オープン予定)
お問い合わせ ☎0120-49-4109
他にも、お寺・お墓・仏壇の相談もどうぞ!!

お知らせ

古着回収の試行を再開

古着回収の試行を再開します。着なくなった冬物など、不用になった衣類をお持ちください。(買い取りではありません)

日時と場所

- ◆4月24日(水) 午前10時～午後3時
浄法寺総合支所
- ◆4月26日(金)～27日(土) 午前10時～午後3時
旧二戸市学校給食センター(堀野生き生き交流センター隣)

※自治会単位の実施を希望する場合はご相談ください。

問い合わせ先 生活環境課(内線333)

ニュース

その札、取らせないよ!



勝負は一瞬、まばたきもできないほどの早さ

第39回二戸市民かるた大会(二戸かるた協会、中央公民館主催)は2月24日、二戸市民文化会館で開かれました。選手は上の句が詠まれると同時に札に手を伸ばし、白熱した戦いを繰り広げました。

入賞者は次のとおりです(敬称略、かっこ内の数字は学年)。

- A級①多賀雪絵(福岡)②鈴木めぐみ(石切所)③峠下和子(石切所)▷B級①福原可奈(福岡高2年)②横島諒(福岡工1)③大江郁弥(花巻市・宮野目中2)▷C級①千葉里美(石切所小5)②田山聴仁(浄法寺小2)③宮本かりん(中央小6)

カシオペアFM 77.9MHz

「二戸市からのお知らせ」を

1日3回放送しています

お知らせ

平成25年度の犬の登録および各種届け出、狂犬病予防注射を市内の各会場で行います。日程および会場を確認のうえ、飼い犬に狂犬病予防注射を必ず受けさせましょう。

当日は犬を管理できる人が、次の準備をして犬と一緒に会場にお越しください。

▷狂犬病予防注射のみを受ける場合

1頭につき3,100円(注射料金、注射済票交付手数料)と通知はがきを用意してください。

▷新規登録し、狂犬病予防注射を受ける場合

1頭につき6,100円(登録手数料、注射料金、注射済票交付手数料)を用意してください。

▷死亡届の提出について

通知はがきに記載されている犬が死亡している場合は、注射会場(または市役所)に死亡届を提出してください。

問い合わせ先 生活環境課(内線334)、浄法寺総合支所市民課(☎38-2211内線153)

◀犬の登録および狂犬病予防注射実施日程▶

【二戸地区】

実施月日	実施時間	実施場所
4月15日(月)	9:10～9:20	作久保集落センター
	9:30～9:40	夏間木野菜集荷所前
	9:50～10:00	岳通り公民館
	10:10～10:20	大萩野公民館
	10:30～10:50	東仁左平地区センター
	10:55～11:10	市役所仁左平出張所
	11:15～11:30	矢沢屯所
	13:00～13:10	釜沢集落センター
	13:15～13:30	新岩手農協舌崎支所前
	13:40～13:50	山屋集会所付近
14:00～14:10	山屋県有林事務所入口	
4月16日(火)	9:10～9:25	十文字公民館
	9:35～9:45	深持橋付近空地
	9:50～10:05	下斗米報徳会館
	10:10～10:25	旧斗米駐在所跡地
	10:30～10:45	市役所斗米出張所
	10:55～11:10	足沢市蔵商店前
	11:15～11:25	足沢生活改善センター
	13:00～13:10	上斗米地区伝創館
	13:20～13:35	金田一川総合センター
	13:45～13:55	大平ヶ原公民館
	14:05～14:15	野月平集会所
	14:20～14:30	根森総合センター
	14:40～14:55	上野公民館
	15:00～15:10	川代地区活性化センター

パンダまつり 4/28
10:00～15:00
※いつもは4/29開催でしたが、今年は28日です、おまちがいない!!

たのしいおまつりですので、みなさんぜひいらして下さい。

パンダホーム
(有)カネキ
TEL 23-6797
FAX 23-6438

不動産情報

売地 二戸市福岡字横丁 620
●宅地/293.50㎡(88.78坪)●商業地域●建ぺい率/80%
●容積率/400%●JR下中町バス停徒歩3分
●福岡小学校まで800m●仲介

売地 二戸市金田一字野月 665
●宅地/314.07㎡(95坪)●第1種中高層住居専用地域
●建ぺい率/60%●容積率/200%●JR九戸通バス停徒歩5分
●金田一小学校まで300m●仲介

住まい探しの店 ㈱ピラス不動産部 二戸市福岡字中町21
TEL 0195-43-3800 携帯 090-2020-9515(田中)
岩手県知事免許(1)第2421号(社)岩手県宅地建物取引協会会員
東北地区不動産公正取引協議会加盟 広告有効期限 H25.4.30

まごみ訪問マッサージ
医療保険を使った訪問マッサージを行っています。
患者様やご家族の方の不安を少しでも解消できます様、無料体験という形でマッサージ治療を体験して頂いています。
ご不安や疑問に対して、納得頂けるまでご説明させて頂きます。

無料体験マッサージを行っています。
まずはお電話ください。

0195-43-3170
お問合せはAM9:00～PM5:00(土・日・祝祭日を除く)
当社の施術者は全て国家資格取得者です。安心して施術をお任せ下さい。
患者様の治療費は1割負担の方で平均400円前後です。
〒028-6101 岩手県二戸市福岡字前田7-6 株式会社キューネスト
まごみのマッサージ動画配信中! <http://www.magomi.com>

お知らせ

電話予約による証明書等交付のお知らせ

実施期間 平成 25 年 4 月 1 日 (月) ~平成 26 年 3 月 31 日 (月) ※土・日・祝日・年末・年始は除く

申込方法 平日の午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分までに、電話でお申し込みください。交付希望日の 5 日前から申し込みできます。

交付時間 午後 5 時 15 分 ~ 6 時 30 分

交付場所 市役所市民課 (内線 237)

その他 (1) 申請書は、受け取りに来庁した際に記入していただきます。
 (2) 印鑑と本人確認書類をお持ちください。
 (3) 印鑑登録証明書の場合は、印鑑登録証と本人確認書類をお持ちください。

問い合わせ、予約先 市役所市民課 (内線 237)

交付できる証明書など

証明書の種類	予約できる人、受け取れる人
戸籍附票の写し	本人、親、子、孫
住民票の写し	本人、同一世帯の人
印鑑登録証明書	本人のみ
身分証明書	
所得証明書	
課税証明書	
扶養親族証明書	
固定資産に関する証明書 (評価、資産、公課金、資産のない証明)	
納税証明書 (軽自動車検査用を含む)	

お知らせ

住宅リフォーム支援事業を 4 月から受け付け~にのへ共通商品券で最大 10 万円を助成~

市は、市内の住宅関連産業と商業を中心とした地域経済の活性化を図るとともに、市民の居住環境の向上を促進するため、住宅リフォーム支援事業を行います。

対象者 (①~③の要件をすべて満たす人)

①二戸市に住民登録し、居住し、かつ住宅を所有している人

②市税などを滞納していない人

③対象住宅について、国、県または市の他の制度 (二戸市生活再建住宅支援事業を除く) による補助および過去に住宅リフォーム支援事業助成の交付を受けていない人

対象工事 二戸市内の施工業者による住宅リフォーム工事で、工事費 (消費税を除く) が 30 万円以上のもの ※平成 26 年 3 月 20 日までに終了するリフォーム工事

【対象となる工事経費】
 家屋の修繕、補修、模様替えおよび増築など住宅本体の機能維持または機能向上のための工事

【対象外の工事経費】

①倉庫、駐車場、フェンス、下水道への接続など、住宅本体以外の工事

②土地の購入および造成

③冷暖房機器、給湯機器などの機器の購入や修繕に係る経費

※詳しくはお問い合わせください。

対象住宅 自己が居住している建築後 10 年を経過した建物で、市内に建っていること。

助成額 工事費の 10 分の 1 に相当する額 (限度額 10 万円) 分の「にのへ共通商品券」を助成します。なお、予算が無くなりしだい、事業終了となりますので、お早めにお申し込みください。

その他 助成を受けるためには、事前 (工事着工前) の申請が必要となります。

問い合わせ、申請先 商工観光流通課 (☎ 23-7210)

ニュース

読書に喜び! 読書感想文コンクール表彰式

第 38 回二戸市読書感想文コンクール (市教育委員会、市立図書館主催) の表彰式は 3 月 9 日、シビックセンターで行われました。各部門の最優秀賞受賞者の 5 人が代表して登壇し、鳩岡矩雄教育長から賞状を受け取りました。審査委員長の高瀬一行さんは「どれも本を読むことに喜びを感じていることがわかる作品でした。これからも読書を頑張ってください」と講評を述べました。応募総数は 95 点。入賞者は次のとおりです (敬称略、かっこ内の数字は学年)。**【小学校低学年の部】** ●最優秀賞▷菅野奏 (中央 1) ●優秀賞▷田中遙喜 (金田一 1) ▷堀内七美 (石切所 2) ●入選▷後藤廉 (二戸西 1) ▷菅秀太郎 (浄法寺 1) ▷阿部桃羽 (福岡 2) ▷内沢美月 (金田一 2) **【同中学年の部】** ●最優秀賞▷坂本雅季 (中央 4 年) ●優秀賞▷古里天舞 (金田一 3) ▷片菜摘 (石切所 4) ●入選▷玉川風樺 (仁左平 3) ▷小館彩 (二戸西 3) ▷中野聖斗 (福岡 3) ▷小原萌那 (中央 4) ▷吉田百音 (中央 4) ▷滝澤百合恵 (福岡 4) ▷安ヶ平聖真 (浄法寺 4) ▷工藤凜乃 (石切所 4) **【同高学年の部】** ●最優秀賞▷菅野豪琉 (石切所 6) ●優秀賞▷高林真佑 (浄法寺 5) ▷

野崎未来 (金田一 6) ●入選▷扇田柚佳 (福岡 5) ▷佐藤達弥 (浄法寺 5) ▷瀬澤あゆ (金田一 6) ▷佐藤格 (浄法寺 6) **【中学校の部】** ●最優秀賞▷田口かずみ (御返地 3) ●優秀賞▷上平奈奈 (御返地 2) ●入選▷佐藤薫乃 (浄法寺 2) ▷横濱茉優 (浄法寺 1) ▷折戸はたる (御返地 1) **【高校・一般の部】** ●最優秀賞を受賞し、賞状を授与される優秀賞▷松浦千明 (福田口かずみさん (御返地中 3 年・左) 岡高 2) ●優秀賞▷小山内慈 (福岡 2) ●入選▷田中佳子 (福岡 2) ▷千葉政嘉 (福岡高浄法寺校 1)

問い合わせ先 市立図書館 (☎ 23-3447)



募集

弓道を始めてみませんか

弓道教室の生徒を募集します。経験者、初心者問いません。「いつかまた弓道をやってみたい」「何か夢中になるものがほしい」「健康のために何かやりたい」と思っていた皆さん、この機会に弓道を始めてみませんか。（これまで教室を経験した人でも構いません。継続して大会に出ている人もいます）

期間 開講式 5月10日（金）午後6時30分～8時
練習日 毎週金曜日（週1回の10回コース）

場所 二戸市営弓道場（仁左平字横手11 横手集会場となり）

服装 動きやすい格好（用具は事務局が用意します）

対象者 70歳以下。一般、男女を問いません。（高校生以下は対象外とします）

定員 10人（定員になり次第締め切ります）

参加料 1,000円（テキスト代）

指導者 二戸大弓会会長 國分正男 ほか二戸大弓会会員

申し込み締め切り 4月30日（火）

問い合わせ、申込先 二戸大弓会事務局 玉川功（☎23-2082）

求人情報

ハローワーク二戸

3月15日現在、ハローワーク二戸に申し込みのあった求人の中から掲載しました。求人に関する問い合わせは、ハローワーク二戸（石切所字荷渡6番地1 ☎23-3341）まで。（☎はパート）

◎ハローワークでは随時紹介を行っています。この求人の中でもすでに決定済みになっている場合があります。あらかじめご了承ください。

職種	事業所名
土木施工管理技士《要資格》	(有)高峰重機
伐採・造林作業員《要資格》	(有)高峯重機
看護職員《要資格》	(社福)二戸市社会福祉協議会
看護師・准看護師（交替制勤務）《要資格》	岩手県立二戸病院
看護師または准看護師《要資格》	菅整形外科皮膚科クリニック
総務・経理事務員（幹部候補）《要経験》	(株)ツガワ鹿角工場 二戸事業所
商工会共済福祉制度推進スタッフ	アクサ生命保険(株)盛岡北営業所
介護職員（交替制勤務）	(社福)いつつ星会
調理員（みやび）	(社福)桂泉会 障がい者支援施設 太陽荘
緑化樹・苗木等の生産作業員	大森緑化販売
製材工	(有)樋口製材所
自動車整備士《要資格》	(有)山善自動車工業
一般貨物運転手《要資格》	(有)古舘運輸
捕鳥部社員	
内装工事工 [期間あり]	インテック(株)
レセプション（受付係）	(有)タケダ
チェッカー（午後3時55分～10時15分）	PA
惣菜（午前8時～午後1時30分）	PA
食肉（正午～午後5時）	PA
青果（午後5時～8時）	PA
レジ係（午前10時～午後1時）	PA
レジ係（午後6時30分～10時30分）	PA
鮮魚部門	(株)ジョイス 二戸店
精肉部門	PA
レンタカー貸渡し業務	PA
	ニッポンレンタカー東北(株) 二戸駅西口営業所
弁当製造・販売店員（ほっかほっか亭 二戸駅前店）	PA
	(株)ダイヤモンド

ご厚志

ありがとうございます

【ふるさと納税】

まちづくりのために

▷金 10,000円＝東京都北区の匿名様より

▷金 10,000円＝東京都江戸川区の匿名様より

▷金 10,000円＝東京都練馬区の匿名様より

教育のために

▷金 10,000円＝東京都武蔵野市の工藤昌哉様より

「私は岩手県盛岡市の出身です。今は東京で働いていますが、今後の岩手のためにも微力ながらお手伝いできればと思い、寄附させていただきました。岩手県の中でも、二戸市は「ふるさと納税」に力を入れているようなので、選ばせていただきました」

▷金 10,000円＝群馬県前橋市の匿名様より

▷金 10,000円＝東京都小金井市の匿名様より

「この度初めてふるさと納税を知りました。復興の一助になれば幸いです」

【金田一保育所へ】

デジタルピアノ1台＝金田一保育所父母の会（村上智子会長）様より

【浄法寺保育園へ】

ワンタッチメッシュ日よけ1台、DVD・ビデオプレーヤー2台＝浄法寺保育園保護者会（小滝義信会長）様より

ニュース

チーム岩手、大きな準V



小保内市長（右）に結果を報告する浪岡正行さん

第10回日本シニアカーリング選手権大会（日本カーリング協会主催）は2月28日～3月3日、北海道北見市の常呂町カーリングホールで開催され、チーム岩手（監督・近江谷好幸、浪岡正行、鈴木彰、柴田理、小守林尚之）が準優勝を手にしました。

男子は10チームが出場しました。一昨年の第8回大会では優勝も経験している同チームですが、今大会はその時のメンバーが2人欠けた中での準優勝。優勝チームに与えられる世界選手権への切符は逃したものの、チームにとって、非常に大きな銀メダルを獲得しました。

メンバーの浪岡正行さんは3月21日、市役所を訪れ小保内市長に成績を報告。「一戦一戦初心に帰って臨み、準優勝できたことでメンバーの絆が深まった。来年も世界に向けて挑みたい」と意気込みを語っています。

こしゃーる

～学びの広がるまちづくり、未来を拓く人づくり～

放課後子ども教室を 開催します

市教育委員会では今年度も、放課後に子どもたちが安心して活動できる場を提供するため、4月中旬より「放課後子ども教室」を開催します。この教室は、地域の皆さんのご協力を得ながら、公民館や学校の空き教室などを利用し、勉強やスポーツ、文化活動などを行うものです。

実施期間 長期休業中を除く平日の午後3時～5時

対象 市内の小学1年生～6年生の児童

実施場所 ①二戸市農村勤労福祉センター ②中央小学校 ③二戸西小学校 ④石切所公民館 ⑤金田一コミュニティセンター ⑥浄法寺小学校

申込方法 申込書に必要事項を記入し、年間保険料800円を添えて、参加を希望する各実施場所の安全管理員または生涯学習課へ提出してください。申込書は各実施場所や、生涯学習課に備えてあるほか、教育委員会ホームページ (<http://edu.city.ninohe.iwate.jp>) にも掲載しています。詳しくは下記までお問い合わせください。

問い合わせ先 生涯学習課 (内線 552)

市内芸術家の作品が一堂に —二戸市芸術家作品展—



作品にじっくりと見入る来場者

市内に在住する芸術家の作品を展示する「二戸市芸術家作品展」が3月8日～10日の3日間にわたり、市民文化会館展示室において開催

されました。

会場には、市内の美術集団「青」や「北方」のメンバー、二戸市書道協会の会員ら9人の芸術家が手がけた、全国または県レベルのコンクール受賞作品など、44点が並びました。

ストーリー性のある写真や、躍動感あふれる絵画、力強い筆さばきで表現された書など、さまざまなジャンルの作品が来場者の目を楽しませました。

3日間で市内外からおよそ200人が来場。訪れた人は個性豊かな作品の数々にじっくりと見入りながら、芸術の奥深さを堪能していました。

小さな美術館



今回は、二戸西小学校の作品を紹介します

ゆずき
山館柚希くん
(1年)



版画「てつぼう」

かりん
古館果林さん
(3年)



版画「ごんぎつね」

だいち
田中館大地くん
(6年)



紙粘土工作「駄菓子屋さん」

図書館情報

市立図書館、浄法寺カシオペアセンター 今月の新刊とお知らせ



何のために生まれてきたの？

やなせたかし 著

「アンパンマン」の生みの親・やなせたかしが、作品誕生の経緯と戦争体験や下積み時代を乗り越えくじけずに生きてきた元気の理由を語る。



働かないアリに意義がある！

いずもりよう・長谷川英祐 著

働きアリの7割は休んでいて1割は一生働かない。だけど組織にはそんなアリが必要なんです。笑って、身につまされて、少しだけ勇気もらえる、生き方コミックエッセイ。



何者 朝井リョウ 著

就活の情報交換をきっかけに集まった拓人たち。生き抜くために必要なことは何か。世界を組み替える力はどこから生まれ来るのか。就活大学生の自意識をリアルにあぶりだす長編小説。

〈その他の新刊〉▷人の目を気にせずラクに生きるために黒猫が教えてくれた9つのこと（金子サリイ著）▷絶望は私を鍛え、希望は私を動かす（朴権恵著）▷津波の墓標（石井光太著）▷庭先でつくる果樹33種（赤井昭雄著）▷目でみることば（おかべたかし著）▷望郷（湊かなえ著）▷ハピネス（桐野夏生著）▷生きのびる魔法（西原理恵子著）

◆手づくり絵本展を開催します

市立図書館では「平成24年度岩手県手づくり絵本・紙芝居作品募集」応募作品の中から89点を展示する、手づくり絵本展を開催します。入賞作品3作（広報3月1日号「こしゃーる」で紹介）をはじめとする、手づくり絵本教室に参加した皆さんの作品も展示します。世界に1冊だけの手づくり絵本、ぜひこの機会にご覧ください。

期間 4月27日（土）～29日（月）

問い合わせ先 市立図書館（☎23-3447）

◆市立図書館4月の行事

○かっこう読書会（3階視聴覚室）

4月21日（日）午前10時～

【訂正とお詫び】広報3月1日号において紹介した新刊「abさんご」のあらすじは、「何者」の誤りでした。お詫びして、訂正いたします。

〈今月の休館日〉市立図書館…8日、15日、22日、26日（図書整理日）、30日、5月7日～9日 浄法寺カシオペアセンター…8日、15日、22日、30日、5月7日

マイ・トレジャーズ

～はじめませんか、あなたの“宝”さがし～

こんにちは！ 二戸市書道協会 です！

私たちは、会員相互の書の研さんと親睦、書美の追求、また、二戸市の書道芸術文化の普及・発展を目的に幅広い年代が集まり活動しています。

活動内容は、年に1回の書道協会展の開催と二戸市文化祭への作品展示のほか、年に3回程度、会員や市民を対象に書道講習会を開催しています。講習会で制作した作品は、書道協会展で展示します。

協会では、随時会員を募集しております。書道経験の有無に関わらず、道具さえあれば、講習会で楽しく筆を持ち、作品づくりができます。興味のある人は、ぜひご連絡ください！

今月からの新コーナー「マイ・トレジャーズ」では、市内で活動するさまざまな芸術団体やサークルを紹介いたします。興味のある人はぜひ、参加してみてください。



書道協会展の様子。力作が勢ぞろい

二戸市書道協会
会長 堀内 青巒 会員 38人
活動 書道協会展や書道講習会の開催など
入会申込先 二戸市書道協会事務局
(藤原：090-5845-6963)



(株)デーリー東北新聞社 二戸支局
 すだやま ゆうた
須田山 裕太さん (28歳)

大きなまちではないが、
 人の温かさを感じる

—勤めてどのぐらいですか

平成19年に入社して、本社勤務の後、平成23年に二戸支局に支局長として赴任しました。

—現在どんな仕事をしていますか

二戸地域4市町村を取材エリアとして、地域の問題を幅広く取材しています。

—自己分析するとどんな人ですか

細かいことは気にしない、大ざっぱな性格です。B型ですから(笑)。

—趣味は

鉄道での小旅行です。いわゆる「乗り鉄」ですね。

—将来の夢は

幸せな家庭を築くことですが、当面の目標はダイエット！支局に来てからお腹周りが大きくなって…(苦笑)。

—理想の女性像はどんな人ですか

笑顔がかわいくて、笑いのツボが同じ人。お酒が飲める人ならもっとういいですね！

—二戸市に対してひとことお願いします

市内各所に、地域活性化に積極的に取り組んでいる人や団体がたくさんいることに驚いています。大きなまちではないけれど、その分人の温かさを感じるまちだと思います。

—最後にひとことお願いします

「デイリー東北」でもなく、「デイリースポーツ」でもなく、「デーリー東北」。まずは名前を覚えていただいて…。皆さんのところに取材に伺った際には、ご協力をお願いします！

(株)デーリー東北
 新聞社二戸支局



二戸市福岡字長嶺131-1
 本社(八戸市)は昭和20年創業、二戸支局は昭和41年開設。青森県南と岩手県北を主な取材エリアとし情報を伝えるほか、「八戸うみねこマラソン全国大会」などのスポーツ事業や文化事業も行う。発行部数10万5,000部。

ドライバーさん、気をつけて！

【仁左平小学校の危険ポイント】

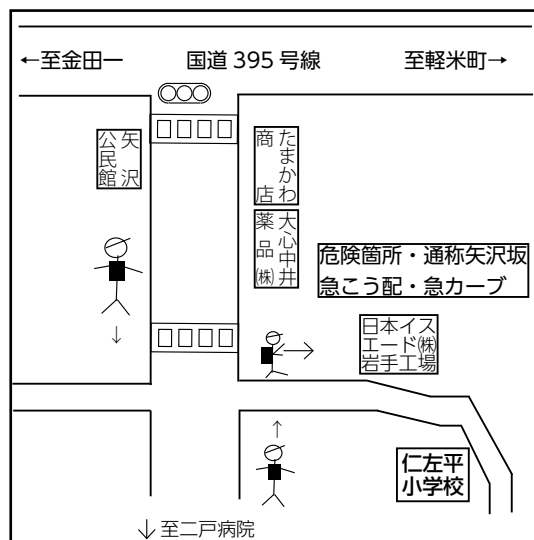
市道矢沢線から仁左平小学校に上がる、通称「矢沢坂」は、こう配が急で道幅が狭く曲がりくねっています。その上、大きな工場へ通じる道なので交通量が多く、特に冬場は積雪や路面の凍結などでますます危険です。通行するときはスピードを抑え、安全運転を心がけましょう。



市道矢沢線を通行する人も注意が必要です

問い合わせ先 市PTA連
 合会事務局(福岡中学校内
 ☎23-3325)

～市PTA連合会からのお願いです～



70杯目

こみゅにTe@たいむ

日本一のむらづくり学ぶ



佐藤勤悦会長の講演に耳を傾ける参加者

市は3月17日(日)、二戸地区合同庁舎で「地域づくりリーダー研修会」を開催し、町内会・常会の会員や地域づくり団体など約60人が参加、地域の資源を活かしたまちづくりについて学びました。

研修会は、協働のまちづくりをリードする人材や団体の育成を図るため毎年開催しています。今回は平成24年度農林水産祭むらづくり部門で天皇杯を受賞した浄門の里づくり協議会の佐藤勤悦代表が「自分達の住むむらは自分達の手作り」と題して講演しました。

講演では、「産直を中心とした農業所得向上」「地域農業への担い手確保」「生活・環境整備」「都市住民との交流」のそれぞれの取り組みについて、約20年にわたるむらづくり活動を振り返りました。佐藤会長は「住民がここに住んでいて良かったと思える『浄門の里』の創造を進めたい」と決意を述べました。

第2部では、宝を生かしたまちづくり賞の表彰が行われました。(受賞団体および概要については17頁に掲載しています)

第3部ではまちづくり事業補助金の事業報告が行われ、今年度まちづくり事業補助金を受けた4つの町内会が、街道をいかしたまちづくり、まつりの復活、宝の案内板の設置など地域づくり活動の成果を発表しました。報告団体と事業名は以下のとおりです。

- ①大段町内会「歴史・文化資源の整備事業」
- ②上野部落会「『まきばのまつりっこ』事業」
- ③下平一町内会「オカリヤ賑わい再生事業」
- ④上米沢町内会「地域の宝を『学び』『守り』『活かす』事業」

問い合わせ先 地域振興課 (内線 384)



4団体が取り組みを発表

—地域おこし協力隊通信—

たからぼの中



—かき目「手間をかける」

蕎麦を打つ。こびるやお料理を作る。木を切る。薪まきで火を熾もす。

色々な地域にお邪魔し、こういった何気ない暮らしのシーンを見るたびに、皆さんの手先の器用さに驚かされます。

◇ ◇
私がかつて住んでいた東京の暮らしは、手間をかける代わりにお金が動いていて、何かを手に入れる手段は、ほぼ「お金」だったように思います。

そんな暮らしに疑問を持つようになったとき、2年前の3・11でした。東京は地震そのものの被害は少なかったものの、食料の生産地がダメージを

受け、かつ流通が止まったことで物がなくなる恐怖におびえた人々がパニックを起こし買い占め行動に走りまわりました。

◇ ◇
スーパーの棚は常にガラガラ。もう大丈夫と言われても、買い占め続ける殺伐とした光景に、食べ物すら生み出せない都市の脆さを見ました。

◇ ◇
昨年11月に二戸に来て、寒い冬を暮らすうちに、この地には厳しくも豊かな自然から恵みを受けて暮らしてきた歴史と文化があることを知りました。冬だからこそ見えてくる保存食のパリエーションの豊かさ。自然の厳しさを知りつくし、備える文

化に、この土地の地力と知力を感しました。

先人から受け継いだ知恵と、手間を惜しまない日々の暮らしによって皆さんの器用な手先は生まれてきたのだと思います。

◇ ◇
その手から生まれた物たちは、素朴で温かくて美しい本物ばかり。そんな宝がいっぱい詰まった二戸。住むほどに好きになってしまおうステキな街なのですから、実は最近困ったことが。

◇ ◇
二戸は食べ物(とお酒)が美味しくて、ごまかせないほど太ってしまいました。どなたか「二戸流食べても太らない知恵」を教えてください！
(地域おこし協力隊・永井尚子)

地域おこし協力隊企画・二戸の宝を訪ねる旅

二戸の旅 第1回参加者募集

日帰り

～古の城下町、二戸の桜とおシドリ散歩～



- 開催日時 4月27日(土) 午前9時～午後3時30分
- 集合時間 午前8時45分 二戸駅西口集合
- 参加費 3,000円(昼食、ガイド、バス代、保険料を含む)
- 問い合わせ、申込先 銀河鉄道観光 (☎019-654-1489)

巡る季節ときを感じて

仁左平中学校（小野寺和彦校長・生徒40人）は3月31日、66年という長い歴史に幕を下ろしました。地域に愛され、多くの人に惜しまれながら校史を閉じた同校の、最後の一年を追いました。

長い歴史の中で輝かしい成績

仁左平中学校は昭和22年4月、新学制により爾薩にさたい体村立仁左平小学校に併設し創立しました。以来、家庭・地域社会と連携した教育を展開。自ら求めて学び、たくましく、心豊かな生徒の育成を図ってきました。長い歴史の中で多くの成果を上げてきた同校。スポーツ面では昭和59年に相撲部が東北大会に出場しました。また平成18年の県中総体では、久慈諒介君りょうすけが走り幅跳びで優勝するなど、快挙を成し遂げました。文化面

でも県書写コンクールで平成14年から16年まで、3年連続で学
校賞に輝くなど、何度も歴史に
その名を残してきました。

生徒減少、学校統合を検討

しかしそんな仁左平中学校も、少子化が進むにつれ生徒や教職員の数が年々減少。創立当初から使用している校舎の老朽化も課題でした。

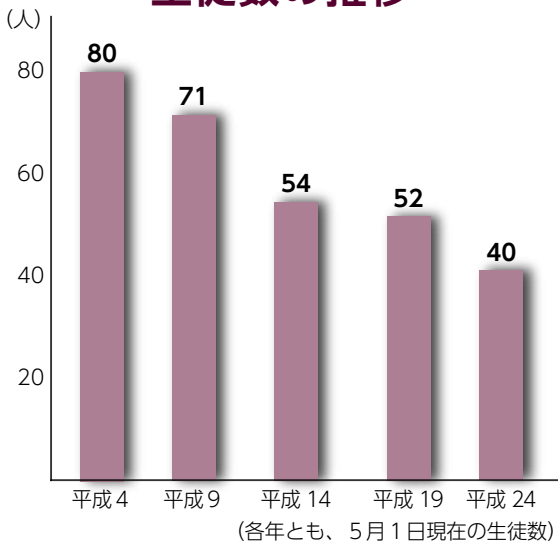
これらの状況から、市教育委員会では、教育環境の充実や、生徒一人ひとりの能力の伸長のために学校統合が必要であると考えました。平成19年5月、

仁左平中学校評議員とPTAの代表者にこのことを説明。仁左平中学校統合検討委員会（佐藤政孝まさたか委員長）が組織され、地域住民も加わった協議がスタートしました。

子どもの教育環境を優先

協議の中では、「時期尚早ではないか」「遠くに行かせると交通事故などが心配」などの声
が聞かれました。しかし、部活動の選択範囲など子どもたちの教育環境を考えると、統合もやむを得ないという方向に進み、平成23年12月、統合検討委員会

生徒数の推移



仁左平中学校 66年の歩み

- 昭和22年4月1日 新学制により、爾薩体村立爾薩体中学校を同仁左平小学校に併設し、創立。同時に白鳥分校を白鳥小学校に、坂本分校を坂本小学校に併設開校。
- 6月1日 爾薩体中学校校舎完成
- 8月31日 坂本分校を廃止
- 昭和24年5月1日 帽章とバッジ制定
- 昭和26年2月14日 白鳥分校を大字四ツ役に新築移転
- 昭和30年3月31日 町村合併により福岡町立仁左平中学校、同白鳥分校と改称
- 昭和32年3月31日 白鳥分校を福岡中学校に移管
- 昭和34年2月14日 校歌制定。作詞勝又雄一郎氏、作曲千葉了道氏
- 昭和47年4月1日 市制施行により二戸市立仁左平中学校と改称
- 昭和49年7月23日 プール落成
- 昭和58年8月10日 相撲部東北大会出場
- 昭和59年5月18日 校旗制定
- 昭和61年2月2日 中学校体育館新築落成
- 平成7年9月8日 「少年の主張」小泉めぐみさん 岩手県大会最優秀賞受賞
- 10月4日 「心の輪を広げる体験作文」遠藤さち子さん 県下最優秀賞受賞
- 平成8年10月2日 岩手県下中学校防犯弁論大会 澤内理恵さん 最優秀賞受賞
- 平成9年4月24日 校章花壇庭園工事完了
- 平成14～16年 3年連続県書写コンクール学校賞受賞
- 平成18年7月15日 第53回岩手県中学校総合体育大会陸上競技大会共通男子走り幅跳び第1位久慈諒介君
- 平成24年7月4日 市と統合検討委員会が統合協定に調印
- 平成25年3月23日 仁左平中学校閉校式、思い出を語る会
- 3月31日 閉校
- 4月1日 金田一中学校に統合



【上】昭和28年度卒業生。女子の制服はブレザーではなく、セーラー服だったことがわかります
 【下】平成24年度入学式（4月6日）。最終年度の新入生は8人でした

は、通学手段の確保や安全対策などについての要望書を市教育委員会に提出。平成24年5月に市教育委員会が要望に対する具体的な対応策や代替案を説明すると、翌月の臨時PTA総会で、金田一中学校との統合について可決されました。

6項目について調印

統合協定調印式は7月4日に行われ、小保内敏幸市長と佐藤政孝統合検討委員長が協定書に調印しました。内容は▽本新田・篠倉地区、高場・大萩野地区、作ヶ久保・夏間木地区について

はスクールバスを運行する▽女子生徒の制服や男女の運動着などについて市が補助する、など6項目です。

佐藤委員長は「生徒たちは母校に誇りを持ち、勉強や部活動、行事など真剣に取り組んでいる。円滑な統合に向け、サポートをお願いしたい」と要望しました。

最高の思い出を作ろう！

母校の閉校を前に生徒たちが取り組んだのは、世界でたった一つのオリジナル合唱曲「WING〜巡る季節（とき）」を

感じて〜」の制作でした。作曲は釜石市出身の作曲家佐々木裕文さん、歌詞は全校生徒から集めたメッセージを、作詞実行委員会が繋ぎ合わせて作りました。「季節が絶えず巡っていくように、仲間との思い出も心の中で生き続ける」、そんな思いを紡いだ生徒たち。郷愁をおわせながらも、その先に希望が感じられる一曲に仕上がりました。

「WING」は閉校記念曲として、市の音楽祭や同校の文化祭などで披露されました。生徒たちの強い思いが込められた合唱は、多くの人の感動を呼びました。



気持ちを一つに

迎えた“最後”の1年
最高の思い出を心に刻もうと
一つひとつの行事に
全力で取り組んできた生徒たち
そのひたむきな姿は
多くの人に感動を与えた一

5月19日 小中合同運動会

円陣を組んで臨んだソーランでは、気迫あふれる演技を披露しました。また、3年生が中心となって作り上げた応援合戦は紅軍、白軍ともに大成功。仁中の団結力を示しました。



12月22日 ウィンターコンサート

閉校記念曲を作曲した佐々木裕文さんとの共演が実現。閉校する母校やともに過ごした仲間への思いを込め、「WING～巡る季節(とき)を感じて～」を歌い上げると、会場は感動の拍手に包まれました。



地域の皆さんに支えられて



仁左平中学校
小野寺 和彦 校長

豊かな自然に包まれ、地域の皆さんに温かく見守り続けていただいた仁左平中学校が、66年の歴史にピリオドを打つことになりました。

私たち教職員も何とも言えない寂しさと無念さがこみ上げてきますが、それ以上に在校生、卒業生、保護者や地域の皆さんの寂しさは、計り知れないものがあると思います。

最後の年となった平成24年度、40人の生徒たちは、生徒会スローガンに「未来への飛躍～未来に名を残す生徒会の実現～」を掲げ、有終の美を飾ろうとこれまで以上によく頑張りました。勉強、部活動、行事など、すべてに集中し一生懸命取り組みました。少人数だけに、一人ひとりが果たすべき役割が大きく、辛いことも多かったと思いますが、果敢にチャレンジしてきました。その結果、地区中総体・新人戦では、女子卓球部が準優勝で県大会出場、地区水泳大会では、学年の部において1年女子総合第2位、2年男子総合、3年男子総合・女子総合が第3位入賞を果たしました。

また、閉校に向けて最高の思い出をつくるために仁左平中学校オリジナル閉校記念歌に取り組みました。全校生徒から募集したメッセージを紡ぎ合わせた歌詞に、プロの作曲家の方に曲をつけていただき「WING～巡る季節（とき）を感じて～」を完成させました。この曲は、本校の文化祭やウインターコンサート、二戸市小・中音楽会などさまざまな場面で発表しましたが、生徒たちの仁左平中学校への想いをたくさんの方に伝えることができたのではないかと考えています。

この仁左平中学校で身につけた力とたくさんさんの思い出を胸に、これからの人生を切り開いていってほしいと思います。

最後に、地域・保護者の皆様には長年にわたり絶大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。仁左平中学校は閉校となりますが、これからも地域の中で仁左平の子どもたちを見守っていただきますよう、よろしく願い申し上げます。



7月9日 統合交流開始式

仁左平、金田一両校の1、2年生が初めて対面した交流開始式。ゲームや合唱、部活動紹介で交流を深めました。

10月28日 文化祭

集まった大勢の保護者らの前で、演劇や合唱などを披露したほか、総合的な学習の時間で地域や学校の歴史について調べた成果を発表しました。また「先輩と語る会」では、昭和42年度卒業の久保田義一さんら4人の卒業生が招かれ、在学中の思い出話などに花を咲かせました。



仁左平中学校閉校記念曲 WING～巡る季節（とき）を感じて～

作詞 仁左平中学校生徒会
作曲 佐々木裕文

一棧 舞散る 校庭の片隅で
そつと 睨閉じて 夢を見る
きつと 季節が 何度も通り過ぎて
同じ色の花を 咲かせただろう
巡る季節（とき）を 心で感じ
目覚めた僕の頬には
朝の光 差すよ
どんな過去も 脱ぎすてて
風が吹いてゆく
ゆつくりでも 歩み出すよ 一歩ずつ

二君と過ごした 僕らのこの思い出
ずつと心の中 きらめいて
道の先には 確かな夢があつて
それは 生きるための証になる
輝いてた 時間の中で
あの日君の笑顔は
今は夢のよう
果てなき未来 求めて
旅は 続いてく
振り返らず 歩み出すよ 一歩ずつ

※切なくて見えなくて
何に向かい 何思う？
そんなとき、そばにいてくれたのは、
誰でもない君だった！！！！
君が… 君がいた… いつも僕のそばに
羽ばたく僕の背中に「絆」という翼
果てなき旅に出るから 道は未来へと
前を向いて 歩み出すよ 一歩ずつ

季節いくつも 心に
想い出は今 時間（とき）の中
夢から覚めて 迷わず
道は未来へ 続いてく
そばにはいつも 誰かが
希望求めて 歩き出す
輝く明日（あす）が あるから
今 未来へと

◆閉校記念曲はインターネットの動画共有サイト「You Tube」で聴くことができます

旅立ち

それぞれの思いを胸に迎えた、卒業の日。

仁左平中学校最後の卒業生が

思い出の詰まった学び舎から、巣立ってゆく

仁左平中学校最後の卒業生22人は3月13日、旅立ちの日を迎えました。

卒業式では、小野寺和彦校長が一人ひとりに卒業証書を授与。また義務教育の9年間、1日も休まず登校した関宇宙君、後藤祐那さん、佐藤優衣さんの3人には、市教育委員会から特別皆勤賞が贈られました。

証書を受け取った卒業生たちは、参列者に向かい「けんかしたことも笑い合ったことも、かけがえない思い出です」など、3年間の思い出や共に過ごした仲間への感謝を述べました。

式後に行われた「卒業生を送る会」では、全校で思い出の「WING」を合唱。感謝や惜別など、さまざまな思いが込められた歌声が会場に響き渡り、また一つ、大切な思い出が、生徒たちや参列者の胸に刻まれました。



晴れ晴れとした表情で記念写真



【上】仁左平中学校最後の卒業生（第2218号）米内雪乃さんが卒業証書を受け取る

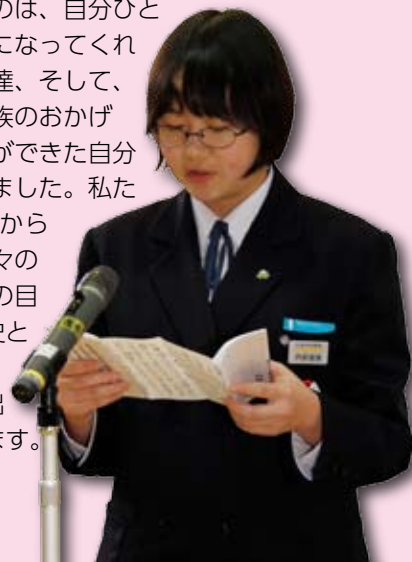
【右下】卒業生からの感謝の言葉に、胸を熱くする先生たち

【左下】卒業生を送る会では「桜の雨」「あなたへ」の2曲を合唱

答辞

卒業生代表 内田 若菜 さん

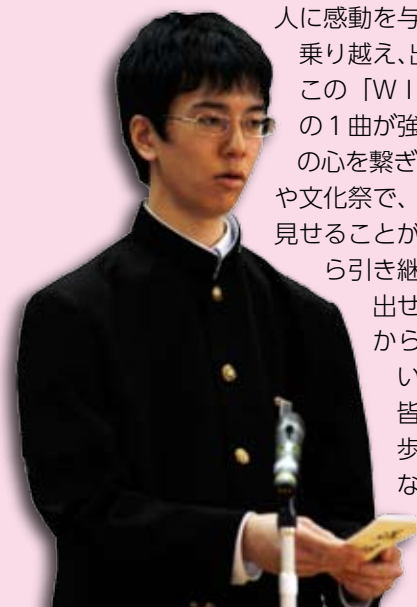
閉校を迎える今年、いつまでも未来へ残る思い出づくりとしてオリジナル合唱曲を制作しました。さまざまな場で披露し、多くの人に聞いていただけて嬉しかったです。仁左平中学校での生活の中で、私たちは大切なことに気づきました。それは人とのつながりです。私たちが歩みを止めることなく、今日までたどり着くことができたのは、自分ひとりの力ではありません。親身になってくれた先生方、苦楽を共にした友達、そして、いつも見守ってくれた家族のおかげです。このことに気づくことができた自分は本当に幸せな人間だと思いました。私たちを支えてくれた皆さんに心から感謝しています。これから別々の道を歩む私たちですが、自分の目指すものに向かって、長い歴史と伝統ある、この仁左平中学校で得た自信とたくさんの思い出を胸に、一步一步進んでいきます。



送辞

在校生代表 佐藤 政秀 君

ご卒業おめでとうございます。皆さんが行事や部活動で示してくれた、リーダーシップ。感情豊かな指揮と、ピアノ伴奏に合わせて、心を込めて堂々と歌う姿。その全てが私たちの憧れでした。皆さんが作詞した「WING～巡る季節を感じて」は多くの人に感動を与えてきました。閉校の寂しさを乗り越え、出会いの不思議や素晴らしさを、この「WING」が教えてくれました。この1曲が強い絆となり、これからも私たちの心を繋ぎとめると信じています。運動会や文化祭で、私たちが成長した姿を皆さんに見せることができないこと、そして皆さんから引き継いだ伝統を次に伝える手段を見出せないことが残念ですが、皆さんから学んだ仁左平中学校の精神は、いつまでも持ち続ける覚悟です。皆さんが希望を求めて踏み出す一歩が、素晴らしい人生への一歩となることを祈っています。





仁左平中学校PTA会長
佐藤 政孝 さん
(昭和49年度卒)

一人ひとりが主役になれる素晴らしい学校 仁中生らしさ忘れず、のびのび学んで

「閉校の日、いつかはやってくる」。近年の少子化の流れの中で、誰もがそんな思いを抱いていました。しかし初めて統合のお話があった5年前、生徒数はまだ70人以上。「閉校にはまだ早い」と感じました。それに仁左平中学校には、目の行き届いたきめ細かい生徒指導など、小規模校ならではの良さがあります。実際、生徒全員が3年間元気に通学していますし、一人ひとりが主役になるチャンスがある素晴らしい学校です。学力はもちろん体育文化活動も目覚ましい活躍をしています。このような自負もあり、やはりすぐには賛成できませんでした。

しかし協議する間にも生徒数は減り、最終年度には1クラス10人足らずの学年も。学校が残ったとしても部活動は成り立ちません。子どもたちのことを考えると、統合を受け入れた方がいいだろうという結論に達しました。協定書に調印した瞬間は、「これで母校が本当になくなる」という寂しさなど、複雑な思いが一気に込み上げました。

生徒たちはこの1年間、本当によく頑張ってくれました。金田一中学校に行く子どもたちは、思春期という何かと多感な時期に環境ががらりと変わります。早く馴染んで、仁中生らしくのびのび学んでほしいと願っています。

仲間や、陸上との出会い 夢へのきっかけをくれた場所

「時間を戻せるなら中学生に戻りたい」というくらい、私は仁左平中が好きです。9年間共に過ごした最高の仲間達。毎日学校へ行くのが楽しかったのを覚えています。

現在体育教師を目指し、福島大学で運動学やトレーニング論などを学んでいます。当時は野球部でしたが、先生が陸上の大会に出場させてくれました。その時、走り幅跳びで優勝できたことが、卒業後も陸上を続け、体育教師を目指すきっかけになりました。

昨年、教育実習生として約1カ月、保健体育の授業を担当しました。短い間でしたが、教師と生徒が一体となって物事に取り組む素晴らしさを実感し、改めて教師への思いが強くなりました。将来は二戸に戻り、子どもたちに体育を教えることが私の夢です。



福島大学3年
久慈 諒介 さん
(平成18年度卒)

怒られたこともいい思い出 地域で子どもたちを支えたい

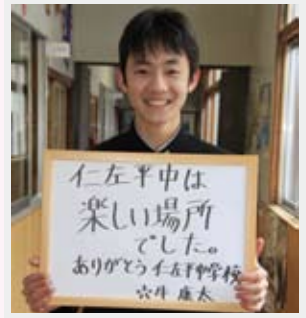
私が通っていたころは一学年60～70人くらいの生徒がいました。いわゆる「悪ガキ」ばかりで、先生によくいたずらをしては怒られたり叩かれたりしたものです。当時は駅伝に盛んに取り組んでいて、町の大会で区間新記録を出したことは、今でも思い出に残っています。

学校は地域のよりどころです。閉校は寂しいですが、それも時代の流れ。やむを得ないことでした。

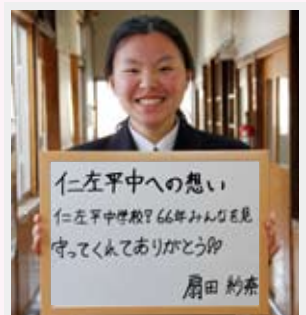
今後は、地域から活力が失われないようにしていかなければなりません。矢沢地区では、毎年開催している盆踊り大会が、一時期途絶えたこともありましたが、太鼓の叩き方などを子どもたちに伝え、子どもから大人まで皆で地域を盛り上げていきたいです。これからも地域全体で、子どもたちを支えていきたいと思っています。



矢沢地区長
嶋野 忠孝 さん
(昭和33年度卒)



の想い



0人。

所。
忘れないよ ——



仁中へ

仁左平中学校最後の生徒となった4
過ごした時間は違えど、
彼らにとって 仁左平中は、
仲間との思い出が詰まった大切な場
ありがとう、仁中。ずっとずっと、



被災地だより

市は昨年度に続き平成 25 年度、東日本大震災で甚大な被害を受けた 2 市 1 村に 4 人の職員を派遣しています。被災地の現在の様子や今後について派遣職員に聞きました。

野田村へ派遣（2 年目）

まい さわ しげ ひこ
米澤 茂彦

野田村復興村づくり推進課
街並み再生班主幹兼総括主査

（前右列から 2 人目）



野田村復興村づくり推進課の皆さん（3月12日撮影）

Q. 赴任しての印象は？

A. 震災直後に給水応援に行きましたが、役場周辺はうずたかい泥だらけのがれきの山でした。村の約 3 分の 1 に当たる 445 棟の建物が流失、全壊、大規模半壊したそうです。それを考えると、赴任当初は「よくここまで更地に整理したな」という印象でした。山には津波最大 18 ㍍、遡上最高到達点 37.8 ㍍の生々しい爪痕が残っていて、「これは逃げられない」と津波の恐ろしさを感じました。

Q. 現在の様子は？

A. 復旧が進みません。農地復旧は完了し、がれきは撤去集積されたものの、風景は 1 年前と変わりありません。14 ㍍の防潮堤の建設に着手し、いくらか復興事業が動き始めた感じですが、まだまだです。どれほど準備や手続きに時間を要してしまったのか…。これからが本番です。

Q. 野田村役場での業務は？

A. 区画整理・都市公園・道路事業を担当し、1 年間で多くの住民説明会や国県協議に苦戦しました。区画整理は今後、地権者との交渉や調整に入りますが、野田村民は大局を見て、「個人」より「みんな」を考え、権利のみを主張する人が少ない。野田村だから事業が進むのだ

と思います。

Q. 役場職員や住民の皆さんの印象は？

A. 地元職員は気さくで親切な方が多く、自然に仲間入りできました。感謝しています。また、職場の上司やスタッフもチームワーク抜群です。

住民の皆さんも暗さはあまり外に出しません。しかし、昔の街並みと賑わいを、じっと待っている感じがします。そのため、少しでも早く復興事業を進めなければと焦ります。

Q. 二戸市民の皆さんへメッセージを

A. 一番大事なものは、このような多数の犠牲者を二度と出さないために、二戸市でも 100 年、200 年先を考えた防災のまちづくりを進めていくことです。想定外の地震や天災がいつかはくると思って、安全な避難ルートや避難場所を確保しておくことがとても重要です。

大きな被災をしたのは日本であり、岩手県です。ぜひ被災地に足を運んで、市町村の垣根を越えて痛みを共有し、何かを感じてほしいと思います。そして帰りにでも特産品を少しお土産にしてください。ホタテなど海の幸はもちろん、のだ塩、麺つゆ、特に山葡萄ワインは最高です。

二戸警察署のぴかっとニュース

カシオペア安全メール配信中！



登録はこの QR コードを読み取るか、空メールを送信してください。

tiab6979@machicomai.jp

登録料は無料ですが、サイト閲覧やメール受信の際には通信料金が発生します。安全な暮らしに役立つ情報を配信しますので、ぜひ登録し、活用してください。

二戸警察署と二戸地区防犯協会連合会では、二戸警察署管内で発生した声かけ事案や犯罪発生状況などを、登録者の携帯電話などにメール配信するカシオペア

春の全国交通安全運動

4月6日（土）～4月15日（月）

スローガン「あの道 この道 慣れた道

安全確認 もう一度」

～4月10日は交通事故死ゼロを目指す日です～

◆子どもと高齢者の交通事故防止（県指定重点）

◆自転車の安全利用の推進（県指定重点）

◆全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底 ◆飲酒運転の根絶

交通事故（2月分） 飲酒運転検挙者

人身事故	3件（6件）		（2月分）
死者	1人（1人）	福岡地区	50代女性
負傷者	4人（10人）	1月からの累計	1人
物損事故	53件（102件）	（平成24年累計	9人）
（ ）は1月からの累計			

火災・救急

(2月分)

火災出動 1件(2件)
救急出動 104件(226件)
()は1月からの累計

■空気が乾燥し、火災の起こりやすい季節です。暖房器具など、火の元の管理を十分に行い、火災を予防しましょう

人の動き

(平成25年2月末日現在)

人口 29,698人(-38)
男 14,074人(-21)
女 15,624人(-17)
世帯数 11,794世帯(-11)
出生 10人(男4・女6)
死亡 29人(男15・女14)
転入 19人 転出 38人

4月の納税 ~忘れずに納めましょう

固定資産税(1期)

納期限 4月30日(火)

休日夜間窓口(市役所収納課)

▷休日窓口 4月28日(日)

午前8時30分~午後5時

▷夜間窓口 4月23日(火)

~30日(火)午後7時まで

平成24年度市税滞納処分状況

平成25年2月分(24年度累計)

債権差し押さえ 12件(56)

不動産差し押さえ 0件(0)

動産差し押さえ 0件(0)

搜索実施件数 0件(0)

税外滞納処分件数 0件(3)

休日当番医

※広報発行後に当番医が変更になる場合があります。

当日の新聞などで確認してください。

月	日	休日救急当番医 (午前9時~午後5時)	歯科当番医 (午前9時~正午)
4月	14日	千葉耳鼻咽喉科医院 福岡・☎23-2009	小野寺歯科医院 一戸町・☎33-3050
	21日	小野寺クリニック 軽米町・☎46-2822	こしみず歯科クリニック 一戸町・☎33-4618
	28日	おりそ内科循環器クリニック 福岡・☎22-2251	渡辺歯科医院 堀野・☎23-2052
	29日	浄法寺診療所 浄法寺・☎38-2021	ムカイダ歯科クリニック 軽米町・☎46-4636
5月	3日	松井内科医院 一戸町・☎33-2201	森川歯科医院 堀野・☎23-6361
	4日	小原内科医院 石切所・☎23-3410	窪島歯科医院 福岡・☎23-2425
	5日	川村医院 福岡・☎23-3252	菅原歯科クリニック 福岡・☎23-1180
	6日	いちのへ内科クリニック 一戸町・☎33-2701	小野寺歯科医院 一戸町・☎33-3050

こちら編集室

一年間追いかけた仁左平中の閉校。取材を通じて多くの笑顔や涙、感動の場面立ち会うことができました。卒業式では、母校や仲間に対する生徒たちの思いが伝わってきて、涙をこらえきれませんでした。皆の輝く姿はきつと保護者や先生、地域の皆さんの胸に刻まれ、決して消えることはないでしょう。たくさんの方の感動をありがとうございました。(工藤)

今月から定例コーナーをリニューアルし、新コーナー「マイ・トレジャーズ」の掲載を開始▽市内で活動する芸術団体やサークルを紹介するのでぜひご覧ください▽もうすぐ春なのにまた風邪を：▽くしゃみをするたび舌を噛んでしまい、痛いですが(泣)▽これから花粉症も本格シーズン。皆さんもお気を付けてください(齋藤)

平成 25 年 3 月 23 日「仁左平中学校閉校式」「思い出を語る会」

① 閉校式には卒業生や地域住民など、多くの人が訪れ、閉校を惜しみました
 ② 「サン、ニ、イチ」生徒や関係者による閉校記念碑の披露
 ③ 「思い出を語る会」に先立ち、閉校記念曲を披露。作曲者・佐々木純文さんとの最後の共演
 ④ 卒業アルバムを手に、思い出話に花を咲かせる参加者
 ⑤ 閉校記念曲の取り組みが紹介されたテレビ番組の映像を上映
 ⑥ 「ああ仁左平校仁左平」肩を組みながら、母校に思いをこめ校歌を歌う



閉校記念碑 詞：佐藤悦郎さん 書：佐藤ゆきなさん